

令和2(2020)年度事業報告書

一般財団法人 高度映像情報センター (AVCC)

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

目次

I はじめに	6
(1) COVID-19と人間の調和	6
(2) Society 5.0を絵に描いた餅にしない	7
(3) SDGs 「4質の高い教育をみんなに」	11
II 霞が関ナレッジスクエア（KK2）事業	13
(1) 産学官連携事業「教育のデジタル化」推進	13
– 1 「教育のデジタル化研究会」開催	13
– 2 KK ² デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）	15
– 3 協賛メンバー様専用ページの提供（協賛メンバーページ）	18
– 4 KK ² ラーニングマネジメントシステム（LMS）の提供	18
– 5 協賛メンバー/相互協力協定締結団体との連携事業の開催	18
①「プラチナTV」（プラチナ構想ネットワーク様）	18
②「ふわりんくる～じょんSD」（社会福祉法人むそう様）	19
– 6 日本語を母国語としない方向け自己学習プログラム「しごとのにほんご」の提供	19
(2) AI社会を生きる力を考える	20
– 1 AVCC & KK ² 事業説明会	20
– 2 地域の「デジタル公民館TM」活動	20
①「デジタル公民館まっさき」活動	20
②「デジタル公民館やねだん」活動（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落）	20
③千代田区霞が関三丁目 地域活動	21
(3) 個人のレジリエンスを学ぶ	22
– 1 霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～	22
– 2 タフな心の育て方	22
– 3 KK ² キャリア相談室	24
– 4 多様な方たちの働く場「エキスパート俱楽部」カフェ運営	25
(4) 組織・地域を担うしごと力を学ぶ	25
– 1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」	26
– 2 しごと力道場～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～	26
– 3 しごと力向上ライブラリ	27
①「新社会人・大学生」向け動画プログラム公開	29
②日本語字幕対応／発達障害啓発週間への協力	30
– 4 コンピテンシー・チェック（Webチェックプログラム）	30
(5) 文化に親しみ交流する	31
– 1 食と文化講座	31
– 2 霞が関寄席	32
– 3 「霞が関音楽祭」への協力	32
– 4 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～	32
(6) 事業運用全般	34
– 1 自主企画プログラムと延べ参加者数	34

– 2 メンバー数およびWeb会員数	34
① 協賛・法人メンバー数	34
② Web会員数～KK ² で学ぶ人、急増！～	35
– 3 施設貸出サービス	37
① オンラインプラットフォームの充実	37
– 4 委員会・会議等の開催	39
① KK ² 運営委員会の開催	39
② KK ² 定例会開催	40
– 5 メールマガジン「メッセージ from KK ² 」発行	40
– 6 情報発信（Web、SNS等）	42
① KK ² Web、SNS	42
② 文部科学省メルマガ「マナビィ・メールマガジン」記事掲載	43
III 地域・社会サービスのデジタル化を支援します	43
(1) システムコンサルティング業務	43
– 1 防災情報システム総合コンサルティング業務	43
– 2 地域情報化計画策定支援業務	44
– 3 教育・文化施設等における情報システム構築支援業務	45
(2) ネットワークコンサルティング業務	46
– 1 防災行政無線コンサルティング業務	46
(3) 防災無線設備（鋼管柱）劣化度調査業務	48
(4) 情報セキュリティコンサルティング業務	49
– 1 ISMS構築及びISO27001認証取得支援業務	49
– 3 情報セキュリティ、特定個人情報コンサルティング・監査業務	49
(5) TV会議システム運用業務	50
(6) 映像システムコンサルティング業務	51
– 1 松戸市民劇場舞台運営・防犯用カメラ設備整備修繕	51
– 2 松戸東ロータリークラブ難聴者支援システム施工	52
– 3 日本アムウェイ本社ビル 防犯カメラシステム更改	52
– 4 日本アムウェイ本社ビル HALL_OF_ACHIEVEMENT検索・表示システム更改	52
– 5 某証券会社コールセンター電話待ち人数表示システム、休憩室AVシステム	52
(7) 映像システム保守管理業務	52
① 千葉県松戸市文化会館映像配信システム	52
② 千葉県松戸市生涯学習情報提供システム（まつどまなびいネット）	52
③ 千葉県松戸市文化ホール社会教育推進関連機器	52
④ 学校法人昭和女子大学 A Vシステム	53
⑤ 学校法人松本歯科大学 A Vシステム	53
⑥ 学校法人愛知大学東京霞が関オフィス情報システム	53
⑦ 日本アムウェイ合同会社本社 A Vシステム	53
⑧ 日本アムウェイ合同会社地方プラザ（全国8ヶ所）A Vシステム	53

VI 運営に関する事項	53
(1) 役員等名簿	53
(2) 会議等の開催	53
-1 第1回理事会（通常）	53
-2 第1回運営委員会（定例）	54
-3 第1回評議員会（定時）	54
-4 第2回運営委員会（定例）	54
-5 第2回理事会（通常）	54
(3) 会員等（令和3年3月）	54
【令和元年度事業報告の附属明細書について】	54

I はじめに

(1) COVID-19と人間の調和

先ずは”COVID-19パンデミックとの調和”を目指す取り組みの経過報告です。私たちは令和元年3月中旬独自に非常事態を宣言し、感染者を一人も出さないことを第一義に、事業プロジェクトを継続する為のコンティンジェンシープランを立案実行しました。

コンティンジェンシープラン(Contingency Plan)

COVID-19と人間の**共存** ⇒ 行動変容 ⇒ **IT活用力**

出勤して自席で働く ⇒ パラダイムシフト ⇒ ITを活かし何処でも働く

- ・集合で働く場合はソーシャルディスタンスを保ち（4割）、在宅勤務、リモートオフィス等で分散勤務（6割）。
(集合 ⇒ 分散、対面 ⇒ 非対面)
- ・オンライン化の推進（社内、社外）
会議・打ち合わせはオンライン開催を基本とし、押印・書面(紙)を見直し、日常業務をデジタル化する。
- ・働き方のルールを根本的に見直す。
何時でも、何処でも、誰でも働ける社会へ
賃金は「時間」でなく「成果÷時間」で評価する

8

職場検討委員会を発足し「withコロナ時代の自立・分散・協調型オフィスの検討」をまとめました。ひとことで言うと「出勤して自席で働く」から「ITを活かし何処でも働く」へのパラダイムシフトです。主に以下の四点を実行しました。

具体的には、(1)九段の事務所2/3を解約しました。オフィスでの執務を最大4割までとし、残りは在宅かサテライトオフィスに分散するリモート執務体制に移行した。残りのオフィス1/3とKK²事務局ルーム/ラウンジに飛沫防止パネルを施し、フリーアドレスの執務スペースとした。(2)オンライン化の推進。社内外の押印、書面(紙)を可能な限りデジタル化し、各種決裁、旅費精算等をオンライン化、郵便物・配布物等電子化した。(3)会議室を廃止し、社内外との会議をオンラインmtg.に切り替えた。進化する多様なWeb会議ツールに対応し、Google Meet/Zoom/Zoom Webinar/Cisco Webex等環境を整備した。(4)すべてのオフィスにはすべてO3(オゾン)発生による殺菌消臭装置を実装しました。

このような感染者を一人も出さない対策を講じ職員の行動変容を促しましたが、昨年12月下旬顧客に駐在する職員一名が残念ながらPCR検査陽性となりました。発熱・咳・味覚障害・嗅覚障害といった症状がありましたが保健所から入院の案内は無く、単身で自宅療養となりました。

幸い2~3日で病状好転し年明けに職場復帰しましたが、この職員の自宅療養体験から得た「戒め」は、(1) (10日分) 自宅に食料を備蓄する。保健所が送ると言った食料が届いたのは何と8日後。公助は輻輳していました。(2)日頃から近所付き合いを。ご近所さんに買い物を頼み急場をしのいだが、日頃からのご近所付き合いが大切。(3)最低限のIT活用力必須。保健所に電話は繋がらずLINEが唯一。スマホ・LINEは生きるために必要。(4)日々出会う

人を記録。苦しい時に濃厚接触者のリストアップを催促される。日々接触した人の記録を心掛ける。(5)相談できる主治医を持つ。不安や怖れは電話等で相談できる医師との関係性で払拭できる。(6)パルスオキシメーター常備。自らの体調は血中酸素濃度を可視化し判断する。の六点でした。



私たちはCOVID-19を科学的に理解し「COVID-19と人間の調和」への道をこれからも辿り続けます。

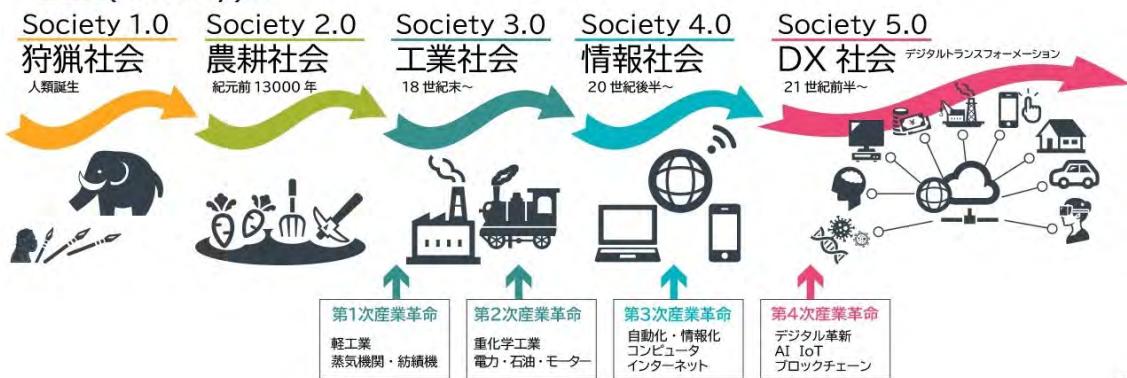
(2) Society 5.0を絵に描いた餅にしない

東日本大震災・原発事故から10年、あの日あのことがあってから日本はレジリエントな社会に変化できたのでしょうか？内閣府がSociety5.0を提唱してから5年、正に絵に描いたSociety5.0は、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)を目指すとありますが、そのように進展したのでしょうか？

Society 5.0とは？

Society 5.0とは、

「Virtual空間(仮想空間)とReal空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、**経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)**」

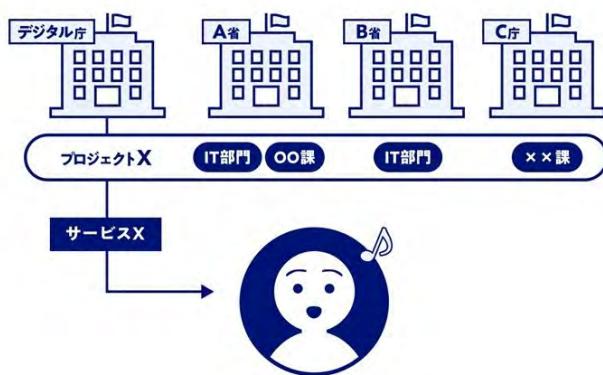


昨年来のCOVID-19パンデミック対応は、スピード感に欠け根拠なき楽観論に依る中で、国民の大多数がワクチン接種することで集団免疫を得るまで首を長くして待つ一方、経済的困窮に苦しむ人々や自死を選ぶ人々が増え、感染が治まらず経済回復の目途が立たない状況が続きます。日本社会にレジリエンスは無く「脆さ」が一気に露呈してしまいました。

ワクチン接種での一定の安心感は期待できますが、Globalizationの分断が続き、国内では症状の無いスーパースプレッダーの存在と増加が確認されています。

ここは原点に立ち返り、検査を徹底し変異株等の状況(データ)を把握し、陽性者を隔離・治療して感染拡大を抑え、その後、経済回復を図るという、データに基づく基本的なやり方を徹底することが肝心です。ITをフルに活用し課題や組織に向き合い変革する、所謂DX（デジタルトランスフォーメーション）が極めて重要ではないでしょうか。

デジタル庁が発足 2021.09.01～



・ デジタル庁とは？

全省庁に「デジタル」という横串を通すことで、省庁起点でもなく、法律起点でもなく、システム起点でもない、**国民起点のサービス**を提供することを目指すのが、私たちデジタル庁です。

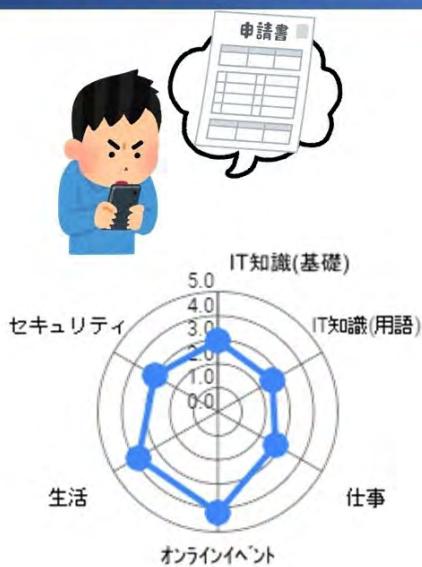
⇒国民の**IT活用力**向上

⇒**個人起点**のサービス

8

本年9月1日にデジタル庁を発足し、「スマホであらゆる手続きが60秒でできる」と利便性が強調されています。誰も取り残されず国民皆がスマホを持ちDX社会の中で便利に暮らすことができるのでしょうか？デジタルデバイドを解消し、国民ひとり一人のIT活用力を測る「IT活用力チェック」試行とIT活用力向上プログラムの整備に着手しました。国民のデジタルデバイドの解消はSociety5.0に向けた喫緊の課題です。

皆さんのIT活用力をチェックしましょう！



IT活用力チェック

ITを活用して

- ・生活課題を解決する
- ・必要な情報を得る
- ・新しいことを学ぶ
- ・地域住民と交流する
- ・安心・安全に生活する
- ・仲間を作る
- ・困ったときに支援を受ける
- ・困った人を支援する

等など

自分の現在位置を確認します

7

IT活用力を高める教材をご活用ください



10

デジタル庁が取り組むサービスでポイントとなるのはマイナンバーカードの利用拡大です。電子証明書の機能をスマホに搭載し、確定申告や年末調整などの行政手続きから銀行口座の開設、携帯電話の申し込みまでスマホ1台ですむ社会が想定されています。行政サービスの利便性の向上は大いに期待できますが、もう一つ踏み込んで、世帯主義中心の行政から自立する個をベースにした個人起点のサービスにも期待が膨らみます。

マイナンバーを活かした個人起点のサービス：TTポイント

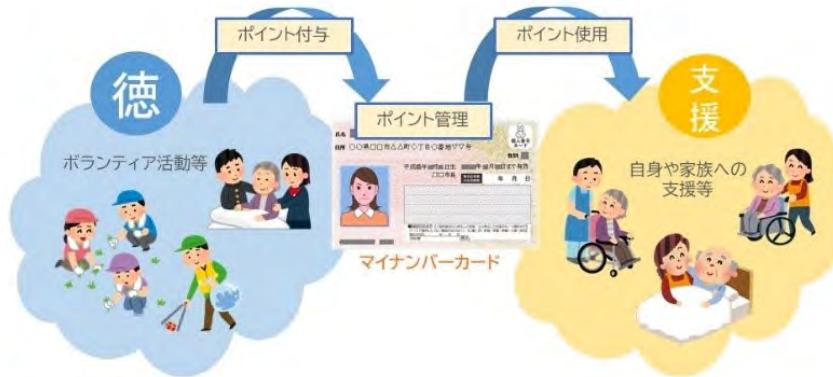


11

マイナンバーという個人に与えられた番号を活かし、「ひとり一役みんなが主役」の理念のもと『個人の尊重』を基本に、全ての世代の「支援を求める人」と「支援する人（ボランティア）」がデジタル通貨制度を介してマッチングするTTポイントは、Society5.0に相応しい個人起点のサービスです。社会実装が期待されます。

Society 5.0とデジタル公民館™

デジタル公民館とは、
地域(Real空間)と仮想空間(Virtual空間)を繋ぐ学びと交流活動を行い
地域でのSociety5.0を推進する活動。



5

「デジタル公民館™」活動は、我国の教育の「質の向上」と国民の「学びの格差の解消」を目指し推進しています。地域(Real空間)と仮想(virtual)空間をつなぐ学びと交流を行い地域でのSociety5.0を推進する活動です。

(3) SDGs「4質の高い教育をみんなに」

COVID-19パンデミックにより多くの学習者は、突然のオンライン授業や在宅学習に遭遇、対面学習が犠牲になりました。教育機関毎のIT環境と講師のIT活用力には著しい格差があり、教育の格差は拡大しています。本当に気の毒ですが、学習者は他と比較することもできず、教育の質を判断することもできないでしょう。

DPPは「質の高い」ハイブリッド授業を目指しています



8

私たちは、1.教育の「質」の向上 2.先生方の「働き方改革」 3.リモート授業、対面授業、ハイブリッド授業の円滑な運営の「サポート」を目的に、DPP(デジタルプレゼンテーションプラットフォーム)を提供しています。先生方のIT活用力に応じて使いやすいよう改良を続け、バージョンアップしてきました。ネット環境さえあれば、どこの学校のどの教室からも、[対面]+[リモート]=[ハイブリッド]授業を円滑に運営できます。DPPの特長は、教師と対面の学生と遠隔地の学生全員が、”お互いに学び合う”「相互・双方向型の学び」を実現することです。教師の講義（映像、音声、スライド）がリアルタイムで配信され、オンラインで、学生の出席管理・学生からのコメント回収・テスト（試験）等を行うことができます。

どこの会場からでもDPPによるオンライン授業実現！

オンライン授業+対面授業=ハイブリッド授業が簡単にできます



10

私たちは、COVID-19パンデミックで拡大した教育の格差を看過せず、多くの先生方に無償でDPPをご活用いただき、教育の質の向上と先生方の働き方改革を支援し、円滑な[対面]+[リモート]=[ハイブリッド]授業の運営をサポートします。

II 霞が関ナレッジスクエア（KK²）事業

AVCCの公益目的事業であるKK²事業は、社会教育プログラムおよびプラットフォームの提供を目的とし「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」をミッションに掲げ、「教育のデジタル化」の推進を中心に、いつでもどこでも誰もが学び交流できる環境を提供する「デジタル公民館™」活動を推進しています。

なお、2020年2月に「デジタル公民館™」の商標登録を出願しました（商願2021-01393）。同様の活動を行っている方達に当該商標権の使用権を無償で付与することでムーブメントの拡大を目指します。

開設12年目を迎えた令和2（2020）年度の事業計画は、新型コロナ感染症拡大を受け大きな変更を余儀なくされました。一方でKK²が12年にわたって取組んできた「デジタル公民館™」活動で蓄積してきた経験、プログラム、システムを社会で役立てていただけることを実感できた1年でもありました。

withコロナ時代におけるKK²事業のトピックは以下の通りです。

- KK²で学ぶ人が急増～Web会員新規登録数が過去最大に～
- 学びのプログラムの開発・提供をスピードアップ～リモート環境（学生・社会人）のみなさんに学びを提供～
- Web会議等、新しいオンラインプラットフォームの充実（ライブ配信・Zoom、Zoomウェビナー1000、Webex、360度ズームインカメラ、4面モニタ等）～KK²プログラムは原則オンライン開催へ、レンタルスペースではニーズに合わせたオンラインでの新サービスを提供開始～
- KK²「新しい生活様式」ガイドラインの策定

詳細について、以下の通り報告します。

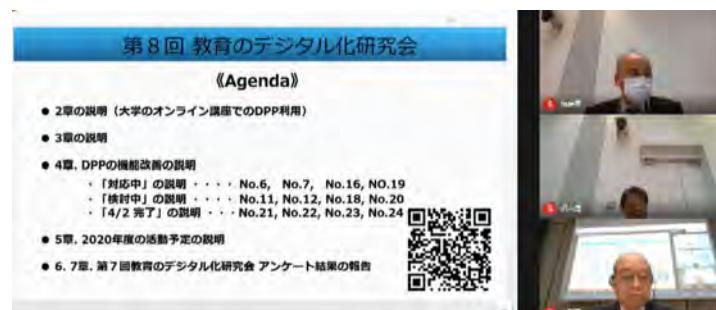
（1）産学官連携事業「教育のデジタル化」推進

KK²は教育研修の質の向上を目指し、「教育のデジタル化」を推進しています。教育の場で得られたデータを評価し、双方向（TwoWay）の教育を実現することで、教育の質を高め、また講師の教授力向上を目指します。

- 1 「教育のデジタル化研究会」開催

「教育のデジタル化」をテーマに、様々な視点から、教育の質の向上を実現するための検討を行う研究会です。令和元年度より定期的に開催をしており、DPPの活用を主として、大学教育や知財教育、情報教育、福祉分野などでの実践事例の共有など議論を深めています。

2021年3月30日（月）に開催予定でした第8回「教育のデジタル化研



究会～2019年度の活動報告～」は、新型コロナの緊急事態宣言を受け、2021年4月13日（月）に延期し、初めてZoomを利用したオンライン+KK²ライブ配信での開催としました。以降第9回から第11回まで全てZoomオンライン+KK²ライブ配信によるハイブリッド形式で開催しました。

日程	テーマ・発表者
第 8回 4月 13日(月)	・2019年度「教育のデジタル化研究会」活動報告（事務局）
第 9回 9月 28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育のデジタル化研究会 2020」活動方針 講師：永岡 慶三氏（座長） ・DPPを使ったオンライン授業、オンライン試験の事例報告 講師：加藤 木綿美氏 (二松学舎大学 国際政治経済学部国際経営学科専任講師) ・2020年4月以降に追加されたDPP機能の紹介（事務局）
第10回 11月 30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・DPPを使ったオンライン授業の事例報告 講師：菊地 宏樹氏 (二松学舎大学 国際政治経済学部国際経営学科講師) ・DPPの特長（強み）について（事務局）
第11回 2月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・「RA/DPPの理念拡大について」 講師：永岡 慶三氏（座長） ・教育のデジタル化研究会「活動方針について」（事務局）

令和2（2020）年度は新型コロナ感染拡大の影響もあり計4回の開催にとどまり、会場参加者は29名、Zoomやライブ配信などオンラインでの参加者は66名、Webページ訪問者は740名となっています。

「教育のデジタル化研究会」参加者数

教育のデジタル化研究会	開催日	会場参加者	オンライン 参加者	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計			
				メンバ	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ					
第8回 教育のデジタル化研究会	2020/4/13(月)	24名	-	24名	0名	0名	140名	122名	0名	18名	164名	164名			
第9回 教育のデジタル化研究会	2020/9/28(月)	5名	23名	23名	5名	0名	269名	252名	0名	17名	297名	297名			
第10回 教育のデジタル化研究会	2020/11/30(月)	-	24名	24名	0名	0名	219名	182名	0名	37名	26名	269名			
第11回 教育のデジタル化研究会	2021/2/1(月)	-	19名	17名	2名	0名	112名	103名	0名	9名	22名	153名			
	合 計	29名	66名	88名	7名	0名	740名	659名	0名	81名	48名	883名			

主な「教育のデジタル化研究会」構成メンバー（順不同・敬称略）

座長	永岡 慶三	AVCC理事、早稲田大学名誉教授、メディア教育開発センター 名誉教授
メンバー	伊庭野基明 伊藤 健二 加藤木綿美 田中 純一 秋田 義一 横谷 和沙 大西 周 須貝賀津雄 黒瀬 泰之 渡辺 保 津田 伸介 垣内 啓江 山口 久美 豊岡 俊彦	KK ² グローバルキャリアカウンセラー KK ² 産学官連携主席研究員 二松学舎大学 国際政治経済学部 AVCC理事/一般社団法人ビル減災研究所 代表理事・所長 社団法人話力総合研究所 理事長 社団法人話力総合研究所 理事 情報処理安全確保支援士 コスモシステム株式会社 そらおと国際特許事務所 代表弁理士 社会福祉法人スマイリング・パーク（宮崎） 防災及びシステムコンサルタント 株式会社ケイ・シー・ブライトン代表/KK ² キャリア相談室カウンセラー 有限会社SNOW DREAM 取締役、NPO法人ふわり・ケアコンサルタント（長野） 株式会社ルート・アンド・パートナーズ/元 財務省

事務局：株式会社メディアリンク 教育イノベーション推進部

– 2 KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム (DPP) ～教育のデジタル化支援ツール開発・提供～

KK²のプログラムは、DPPにより「リアル研修／集合学習」「ライブ学習」「オンライン学習」の三つの学習形態で、アナライザ(Response Analyzer) ^{※1}を活用した対話型(TwoWay：双方向性)の学びを行っています。令和2(2020)年度は、特にKK²の施設や設備を利用せず、インターネット環境が整っていれば、どこからでもライブ配信機能によるリモート学習の実現などの新たな機能を開発いたしました。

また、「教育のデジタル化研究会」にて検討してきた機能、講師の方々から実際にDPPを利用頂いた気付きなどを反映して今年度は以下の機能追加を実施しました。

[令和2年4月]

- 講師ダッシュボード機能
講師用トップ画面に「本日のプログラム」「明日以降のプログラム」「直近1ヶ月のプログラム」「インフォメーション」「ダウンロード」を表示することで利便性の向上を図りました。
- 講師によるコメント機能
学習者の記述式回答（設問、アンケート、質問）に対して、講師はコメントを返すことができるようになりました。学習者はマイページから講師のコメントを確認できます。
- インタラクティブ動画機能
VOD動画の最後にRAで登録した設問を表示させ、回答時に自身の回答を含んだ全

ての回答結果をリアルタイムに表示できるようになりました。



[令和2年5月]

- 講師機能のスマホ対応
講師機能（講師管理画面）をスマートフォンから操作できるようになりました。
- 設問受付を停止する機能
設問の受付を一時停止／再開できるようになりました。

[令和2年7月]

- アンケート回答期限機能
アンケートに回答期限を指定できるようになりました。
- 回答結果を学習者毎に集計する機能
DPPの回答結果を学習者毎に集計しPDF出力できるようになりました。
- アドリブ質問機能
講義中に講師が設問を登録し、そのまま学習者のRA画面に表示・回答することができるようになりました。
- アンケートの複数選択機能
アンケート方式の「記述式」「選択式」以外に「複数選択式」が選べるようになりました。

[令和2年8月]

- DPPログインなし機能
KK²WebサイトにログインせずにDPPを利用できるようになりました。不特定多数からアンケートを取る場合に効果的です。

[令和2年11月]

- アンケート一時保存機能
アンケート回答途中で一時保存ができるようになりました。

[令和3年1月]

- アンケートの集計結果表示機能
アンケート回答後に集計結果を表示するオプションを追加しました。メルマガ等でアンケートをとり、その場で回答の集計結果を確認することができるようになりました。

[令和3年3月]

- DPPライブ配信機能

RAプログラムにライブ配信機能を追加しました。講師は自身のPCを使って講義をライブ配信できるようになりました。（※令和3年5月にRA表示を改善しました）



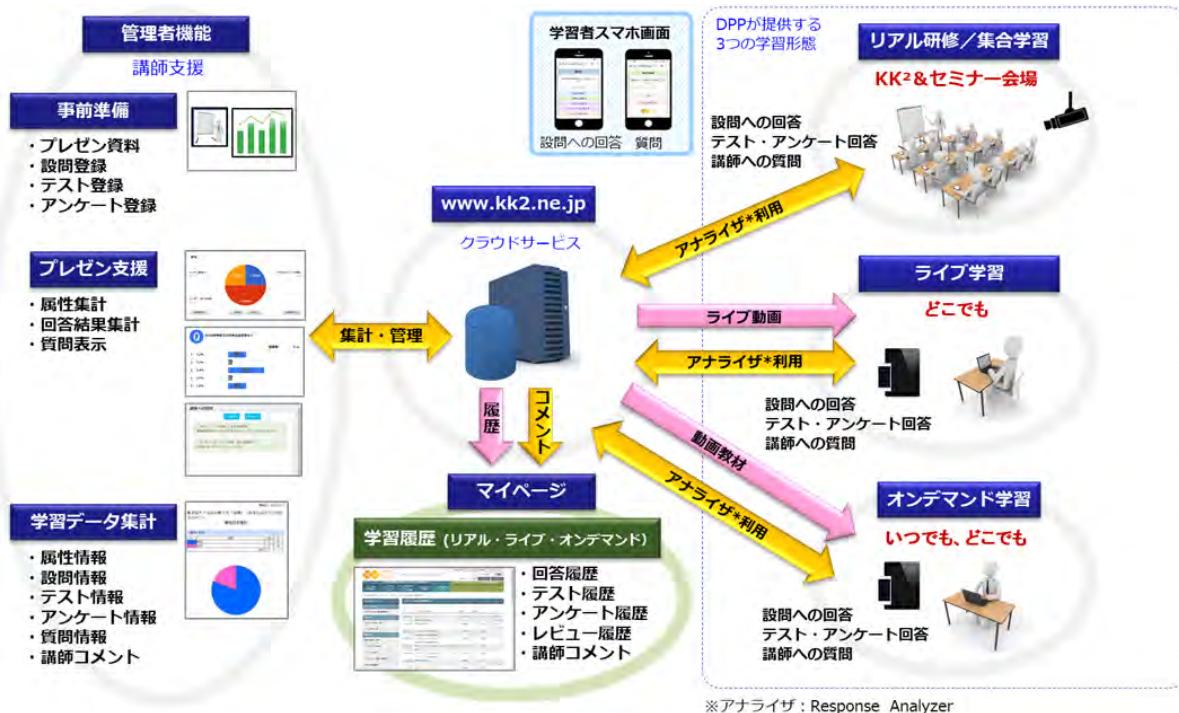
ライブ配信画面（PC）



ライブ配信画面（スマホ）

※1アナライザ（Response Analyzer）は、講師・全学習者を繋ぐプラットフォームです。データ収集と分析により「教授力」をバージョンアップし、プログラム評価を手軽に行うことができます。

※2 KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）は、協力会社である株式会社メディアリンクにより、特許番号：第6507328号、第6582262号を取得しています。



KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム (DPP) 概念図

- 3 協賛メンバー様専用ページの提供（協賛メンバーページ）

KK²Webサイトにログインした時のメールアドレスのドメイン名（@以下）を認識し、協賛メンバー様の組織名称等を表示する専用ページサービスをご提供しています。KK²プログラムの中から学ばせたいプログラムをピックアップして表示したり、協賛メンバー様のオリジナルの動画教材も登録が可能です。前述のDPPもご利用いただけます。

ユーザー様の管理画面を用意し、専用ページの編集・学習者管理・学習履歴の閲覧などが可能です。組織としてKK²プログラムを活かした自己学習環境を従業員に提供し、学びたい従業員がWeb会員登録をすれば自己学習を進めることができます。

令和2（2020）年度は、新規協賛メンバー様 1団体が新入社員研修への活用のため新規にご利用をいただき、協賛メンバーページのご利用は合計で7団体となっています。

- 4 KK²ラーニングマネジメントシステム（LMS）の提供

KK²ラーニングマネジメントシステム（LMS）、「リアル研修（KK²orセミナー会場）」「ライブ学習」「オンデマンド学習」で学習機会を増やし「自分で自分を育てる」自律した人材を育むことを目的としています。KK²で開発し公開している、社会や組織で活躍するために必要な「しごと力」を学べる動画プログラムを教材として活用できるプラットフォームです（協賛メンバー様限定）。

令和2（2020）年度は、LMSでライブ配信が利用できるようになり、機能面での強化も実施しました。今後も既存ユーザー様の引き続きの運用と、新規ユーザーへのPRを進めております。

- 5 協賛メンバー/相互協力協定締結団体との連携事業の開催

協賛メンバーおよび相互協力協定（MOU）締結団体との連携事業を推進しています。令和2（2020）年度はプラチナ構想ネットワーク様と社会福祉法人むそう様にご協力いただきました。

① 「[プラチナTV](#)」（プラチナ構想ネットワーク様）

日本が目指すべきビジョン「プラチナ社会」の実現に向けて活動する「プラチナ構想ネットワーク」（会長：東京大学第28代総長 小宮山宏氏）が発信する日本の課題解決に向けた提言「新型コロナウイルス」×「プラチナ社会」等、プラチナTV開設記念講演をKK²サイト「AI社会を生きる力を考える」カテゴリ内に「プラチナTV」カテゴリを作成し以下の3講座を掲載しました。



* 「[プラチナTV](#)」とは

プラチナ構想ネットワーク会長の小宮山宏氏（株式会社三菱総合研究所理事長／東京大学第28代総長）による講演や各種イベントを映像化し、「プラチナ社会」に関する活発な情報発信を行うプログラムです。（2020年4月24日公開）

講座名	単元数	出演者
プラチナTV開設記念講演 ～コロナ禍の構造化とプラチナ社会～	3 単元	小宮山 宏氏 プラチナ構想ネットワーク 会長 株式会社三菱総合研究所 理事長 東京大学 第28代総長
「未来のあるべき姿」を提案し、社会実装する	2 単元	平石 和昭氏 プラチナ構想ネットワーク事務局長
プラチナTV開設記念講演 ～新ビジョン2050 人類史の転換期とビジョン「プラチナ社会」～	4 単元	小宮山 宏氏 プラチナ構想ネットワーク 会長 株式会社三菱総合研究所 理事長 東京大学 第28代総長

② 「ふわりんくる～じょんSD」（社会福祉法人むそう様）

社会福祉法人むそう様主催の「ふわりんくる～じょん」は、はじめて無観客オンラインで開催しました。5月30日開催「ふわりんくる～じょんSD～感染症が当たり前にある時代に暮らす～」、10月31日開催「ふわりんくる～じょんSD～医療的ケア児者支援の行方「withコロナ」の暮らし～」の2回開催し、いずれも

約300名の方にライブ配信でご参加いただきました。Web会議で遠隔地にいるスピーカー同士をつないだ対談や、KK²スタジオでの講義を事前収録した映像を活用したり、本番ではKK²とリモート・スピーカーをWeb会議でつないで、参加者からへの設問回答や質問の受付などDPPを活かしたインタラクティブなプログラムとなりました。

収録した動画はKK²サイト「AI社会を生きる力を考える」カテゴリ内に「ふわりんくる～じょんSD」カテゴリを新規に作成し公開をしました。特設バナーを作成しKK²トップページに掲載しています。



- 6 日本語を母国語としない方向け自己学習プログラム「しごとのにほんご」の提供

平成31年4月に改正出入国管理法が施行されたことを受けて、日本に来日する日本語を母国語としない方々に、私たちには「労働力」のみを求めるだけではなく、「生活者」として日本社会に受け入れる環境整備が求められています。

職場や日常生活で最低限必要な日本語を見て、聞いて、まるごと覚える「しごとのにほんご」(24ステップ)は、AVCCが開発したオリジナル教材です。令和元(2019)年度に字幕を付ける作業を行い、KK²Webサイトで毎月3単元ずつ公開、2021年1月に完了しました。



(2) AI社会を生きる力を考える

- 1 AVCC & KK²事業説明会

2021年5月に公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 イノベーション推進室長 平田英世様のご講演を予定していましたが、延期しました。

- 2 地域の「デジタル公民館™」活動

KK²では、地域におけるデジタルデバイドを解消し、地域の魅力を発信するサポートを行っています。対面による人と人の交流とデジタルツールの活用を合わせて、地域住民のみなさんの活動の活性化のお手伝い、デジタル化のサポートを行っています。

① 「デジタル公民館まっさき」活動

～気仙とKK²のコミュニティ活動の交流～（岩手県大船渡市/陸前高田市）

2011年東日本大震災で大きな被害を被った岩手県気仙地方、大船渡市末崎（まっさき）地区を中心に継続的に訪問し、地域住民の方々との交流を進めてきました。

令和2（2020）年度は、現地を訪問してのPC・スマホ教室や地域活動の運営支援ができませんでしたが、PCやSNSなどに関する質問を遠隔（電話、メール、SNSのメッセージ等）で対応しました。これまでの継続的な活動による地域の方々のITリテラシの向上、人間関係の構築による成果を実感しました。2011年に立ち上げたWebサイト「デジタル公民館まっさき」は、引き続き末崎地区公民館の方による「館報まっさき」情報など、定期的な更新作業が行われました。

・デジタル公民館まっさき Webサイト <http://www.massaki.jp/>



② 「デジタル公民館やねだん」活動（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落）

～行政に頼らない「むら」おこしを応援～

「やねだん」は鹿児島県大隅半島のほぼ中央に位置し、120世帯およそ 300人が共存する高齢化が進む典型的な中山間地域の集落です。住民が協働して土着菌堆肥を作り、休遊農地でサツマイモや唐辛子を栽培し、家畜排せつ物の消臭にも活用しています。これらの販売により集落としての自主財源を確保し、住民の福祉向上などに役立てています。



このような自律した地域作りを「地域再生」「コミュニティ・ビジネス」のGood Practiceとして発信するために、KK²はWebサイトの構築と運営を行っています。令和2（2020）年度も、Webサイトの定期的な更新作業を行いました。

また「やねだん」が主催する全国の自治体職員、福祉介護職員が中心となり参加する「故郷創世塾」の卒塾生（約1,000名）のメーリングリストの登録、管理業務も継続して行いました。

令和2（2020）年度は、Webサイトの運営、メーリングリストの管理に加え、公民館に整備したWi-Fi環境、TV会議システムを活用し、オンラインでDPPを活用したプログラムを2回開催しました。

10月3日開催「やねだん故郷創世塾～卒塾生と塾長が語る withコロナ、常態化する自然災害に適応する地域活動について～」では、毎年やねだんで開催している故郷創世塾をはじめてライブ配信で開催し、やねだん、各地の卒塾生、KK²をTV会議、Web会議でつなぎ約300名が参加しました（共催：やねだん故郷創世塾/A V C C）。また、11月28日開催第28回やねだん故郷創世塾「オンラインWeb会議活用講座」では、Web会議でやねだんとA V C Cをつなぎ、講師が東京から講義を行いました。

収録した動画は、KK²サイトの「AI社会を生きる力を考える」カテゴリ内、「デジタル公民館やねだん」で公開しました。バナーを作成しKK²トップページに掲載しました。

- ・やねだんWebサイト
<http://www.yanedan.com/>
- ・第17回エキスパート・スタジオ 豊重哲郎さん（やねだん自治公民館長）



<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz02/exp017.html/>

③ 千代田区霞が関三丁目 地域活動

KK²の地元「千代田区霞が関三丁目」は、住民はほとんどいませんが昼間人口は2万人を超えます。「デジタル公民館™」として地元の地域活動を応援し「向こう三軒両隣」の関係をつくることで、有事に対応できる地域づくりを目指しています。

- 大規模災害における帰宅困難者等受入に関する協定締結（千代田区）

2015年2月、千代田区と「大規模災害における帰宅困難者等受入に関する協定」を締結、東日本大震災発災時にKK²が独自に帰宅困難者受入を行った経験を活かし、震災、水災等の災害により被災した千代田区内の帰宅困難者等を一時的に「エキスパート俱楽部」と「スタジオ」に受入協力を行うために、千代田区災害対策危機管理課との専用防災無線、災害時特設公衆電話（4回線）、3日分の水食料、毛布、携帯トイレなどの備蓄品などを備えています。

令和2（2020）年度は、千代田区の防災無線訓練（月1回）、A V C CのBCP/BCMの取組の一環として2021年2月25日に一斉帰宅抑制推進企業向け研修会を実施しました。また、東京都民間一時滞在施設スマートフォン等充電環境整備費用補助金で新規にポータブルバッテリーを備品として整備しました。

- 霞が関三丁目町会・地域活動

KK²は、企業町内会「霞が関三丁目町会」に加入しており、代表の久保田了司が理事をつとめ、町会の企業・組織の従業員の方たちの交流の場づくりに協力しています。

令和2（2020）年度は、会員の交流の場や、地域防災の意識を高めるプログラムを開催予定でしたが、中止になりました。

（3）個人のレジリエンスを学ぶ

「変化にしなやかに対応する力」をKK²では「レジリエンス」とよんでいます。COVID-19との共存をはじめ未曾有の災害など、これまで人類が遭遇したことのない様々な課題を抱える現在、大きな変化に向き合い、周りの人々と協力しながら課題を解決し、前に進むことができる力が一人ひとりに求められています。令和2（2020）年度は、オンラインでプログラムを開催しました。

- 1 霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～

気軽に坐禅を体験し、姿勢を調整、呼吸を調整、そして心を調整、じっくりと自分自身と向き合っていただくプログラムです（宗教/宗派不問、どなたでも参加可能）。臨済宗妙心寺派東京禅センター様にご協力いただき、オンラインで3回開催、参加者数は89名でした。

円光寺（東京都台東区）副住職の中山宗祐さんによる法話と坐禅をライブ配信し、その後Web会議で参加者とつなぎ、オンライン交流会を行いました。ご自宅や職場などの坐禅体験により、坐禅の魅力を知り、自分自身と向き合う機会を得られたといった感想をいただきました。



「霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～」 参加者数

霞が関坐禅会	開催日	会場参加者	オンライン 参加者	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)
				メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ			
第九回 霞が関坐禅会	2020/6/24(水)	/	12名	11名	1名	0名	1,074名	804名	38名	232名	137名	1,223名	4.5
第十回 霞が関坐禅会	2020/11/18(水)	/	53名	52名	1名	0名	1,024名	817名	23名	184名	116名	1,193名	4.5
第十一回 霞が関坐禅会	2021/2/10(水)	/	24名	24名	0名	0名	542名	438名	10名	94名	71名	637名	4.7
	合 計	/	89名	87名	2名	0名	2,640名	2,059名	71名	510名	324名	3,053名	/

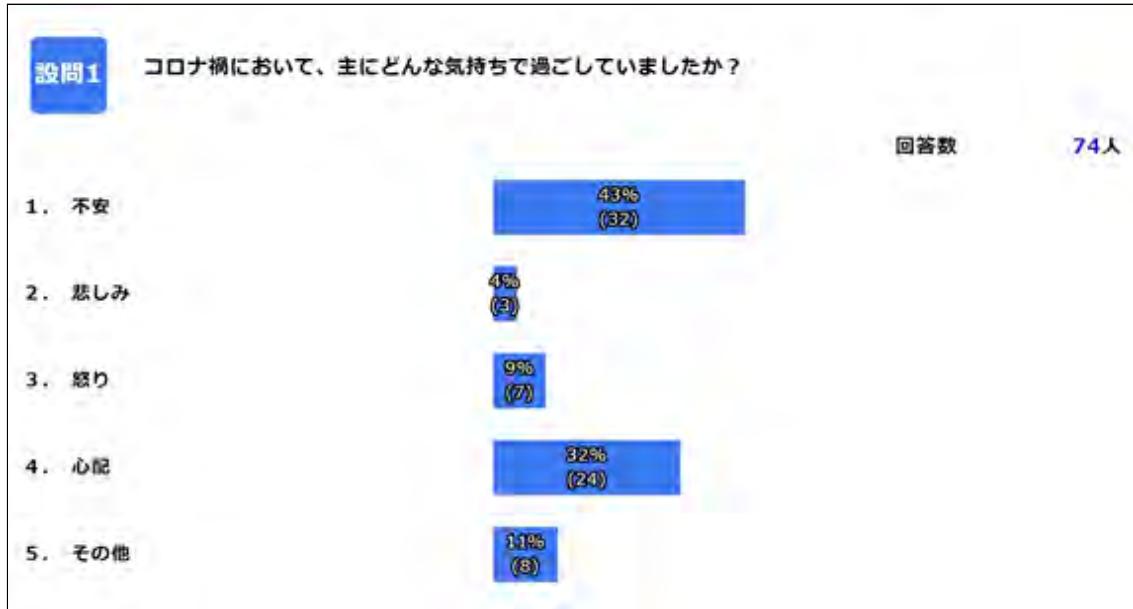
・協力：臨済宗妙心寺派 東京禅センター

- 2 タフな心の育て方

過酷な現場で活躍する約3万人の消防士の方々の育成に携わってきたKK²アドバイザリー

メンバー 鎌田修広さん（株式会社タフ・ジャパン代表取締役）にご協力いただき、レジリエンスを高めるプログラムを開催しています。

令和2（2020）年度は、コロナ禍での特別企画として「困難への心の対処法 5つのステップ ～いま、私たちに大切なこと～」（6月26日開催）を急きょオンラインで開催し、70名を超える方々にライブ配信でご参加いただきました。DPPで鎌田講師から「コロナ禍において、主にどんな気持ちで過ごしていましたか？」と問い合わせると以下の回答結果となり、参加者のみなさまと様々な思いを共有することができました。



DPPを使った設問への回答集計結果

「環境変化に適応できるレジリエンス・マッスル」は3回シリーズでオンラインで開催しました。講義はライブ配信で視聴していただき、その後講師と参加者がWeb会議で交流を行いました。これまででは、飲み物片手に交流会を開催していましたが、オンラインでの交流会の開催方法については課題があり試行錯誤を重ねました。アンケート等でいただいた参加者のご意見や講師と相談しながら改善を行い、ブレイクアウトルームの活用など工夫をしました。



講義・交流会風景

「タフな心の育て方」参加者数

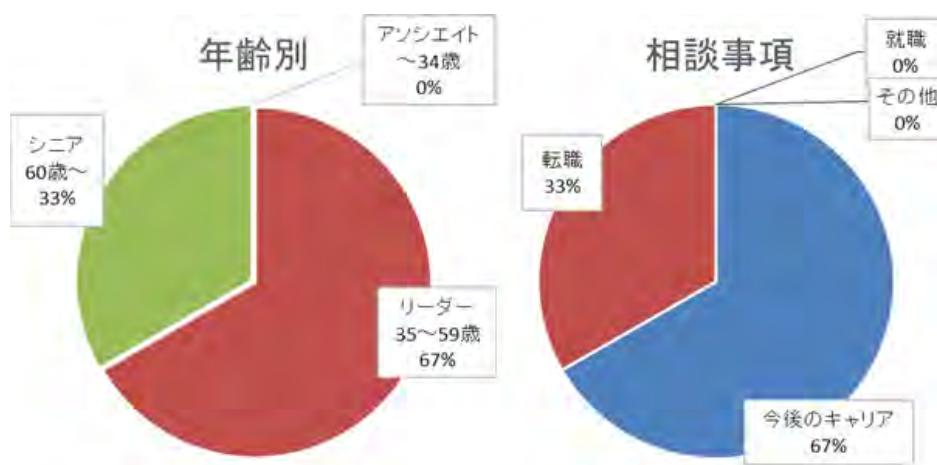
タフな心の育て方	開催日	会場参加者	オンライン 参加者	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)
				メンバ	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ			
困難への心の対処法 5つのステップ ～いま、私たちに大切なこと～	2020/6/26(金)		75名	57名	18名	0名	1,389名	954名	72名	363名	220名	1,684名	4.4
【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「個人編」	2020/10/28(水)		52名	45名	7名	0名	1,013名	810名	28名	175名	201名	1,266名	4.2
【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「チーム編」	2021/1/20(水)		45名	39名	6名	0名	1,065名	868名	0名	197名	141名	1,251名	4.6
【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「組織編」	2021/3/3(水)		44名	44名	0名	0名	745名	665名	7名	73名	145名	934名	4.4
	合 計		216名	185名	31名	0名	4,212名	3,297名	107名	808名	220名	5,135名	

- ・第51回エキスパート・スタジオ
鎌田修広さん（株式会社タフ・ジャパン 代表取締役社長）
<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz03/exp051.html/>

- 3 KK²キャリア相談室

平成22（2010）年にスタートし、平成23（2011）年より特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（JCDA）と提携を開始しました。仕事だけでなく、人生全体をライフキャリアとしてとらえ、幅広い相談に対応しており、職業紹介を行わない、キャリア相談に特化したカウンセリングが特徴です。

令和2（2020）年度は、対面でのカウンセリングの受付を一時停止しました。JCDA様、カウンセラーの方達の協力をいただき、オンラインでの実施にあたっての同意書の新規作成などの整備を進め、2021年2月よりWeb会議でのカウンセリングを開始しました（月～金 10時から19時枠）。3名の方にご利用いただき、内訳は年齢別ではリーダー層（35～59歳）が67%、相談事項については、今後のキャリアが67%となっています。告知を充分に行うことができなかつたため、多くの人に活用していただくことができませんでした。



カウンセラー（2021年3月31日現在/敬称略）

 <p>徳橋 英治 JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー</p>	 <p>堀田 治見 国家資格キャリアコンサルタント 文部科学省（一財）生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ</p>
 <p>垣内 啓江 国家資格キャリアコンサルタント 2級キャリアコンサルティング技能士 JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー</p>	 <p>田代 理恵 国家資格キャリアコンサルタント JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー</p>
 <p>早坂 明美 国家資格キャリアコンサルタント JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー</p>	 <p>伊庭野 基明（アドバイザー） KK²グローバルキャリアカウンセラー</p>

- 4 多様な方たちの働く場「エキスパート俱楽部」カフェ運営

平成30年度より社会福祉法人むそう様にエキスパート俱楽部の一般営業（ランチ・カフェ業務 土日祝日を除く11:30～15:00）の運用を行っていただき、働きにくさを抱えた方の働く拠点の一つとして活用していただいている。

令和2（2020）年度は、来店者数の激減など非常に苦しい運営状況となりましたが、[新型コロナ感染症拡大予防対策](#)として、テイクアウトのランチを提供するなど、安心安全な運営を行いました（東京都の「感染防止徹底宣言ステッカー」、千代田区の「千代田区新しい日常店」認証ステッカーを取得済）。



- ・社会福祉法人むそう Webサイト <http://musou.or.jp/>
- ・第53回エキスパート・スタジオ
NPO法人ふわり・社会福祉法人むそう 理事長 戸枝 陽基さん
<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz03/exp053.html/>

（4）組織・地域を担うしごと力を学ぶ

KK²では「社会で活躍するために必要な力」を「しごと力」とよんでいます。学校で学ぶKnowledge（知識）、Skill（技能）だけでなく、Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）といった、人間の行動特性（コンピテンシー）も含んでいます。長寿社会、生涯現役時代において、主に組織で活躍する世代（アソシエイト/リーダー層）、また組織を離れて地域や新たな場で役割を担う世代（シニア層）に必要な「しごと力」を学ぶプログラムを提供しています。

- 1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え方学ぶインタビュー形式のWeb番組です。ゲストは様々な職業で活躍する若い世代から、人生二周目に社会の課題解決へ挑戦するアクティビシニアまで、目の前の課題に全力で挑戦するエキスパートです。

令和2（2020）年度は、第55回目のゲストとして「弁理士 黒瀬泰之さん（そらおと国際特許事務所 代表弁理士）」をお迎えしました。

番組はライブ配信を行い、KK²スタジオにはゲストと出演者の3名のみにお越しいただきました。出演者の間にアクリルパネルを設置し、お互いに距離をとったレイアウトを工夫するなど感染対策を行いました。事前取材はWeb会議をつないで行い、職場の風景はディレクター1名でゲストの職場に伺い小型カメラで撮影しました。番組終了後は、Web会議でゲスト、出演者と参加者をつないで交流会を開催しました。オンラインでの交流会開催には、いろいろと課題がありましたが、ゲストに歌声を披露していただくなど盛り上がりました。

「第55回エキスパート・スタジオ」参加者数

エキスパート・スタジオ	開催日	会場参加者	オンライン参加者	属性内訳			Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計	オンデマンドレビュー(5段階評価)
				メンバーメンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマート			
【オンライン】第55回エキスパート・スタジオ 弁理士 黒瀬泰之さん（そらおと国際特許事務所 代表弁理士）	2021/12/3(金)	/	28名	22名	6名	0名	1,042名	855名	17名	170名	151名	1,221名	4.2
	合 計	/	28名	22名	6名	0名	1,042名	855名	17名	170名	151名	1,221名	/



第55回 弁理士 黒瀬泰之さん
(そらおと国際特許事務所
代表弁理士)

- 2 しごと力道場～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～

多様なジャンルの人々が集い、発言し、交流する「他流試合」の場です。ビジネスでの普遍的なテーマについて、少人数の参加者が3時間ディスカッションを行い対話力を高めるプログラムです。師範代（ファシリテーター）は池田正夫さん（人材育成コンサルタント）です。参加回数に応じた「しごと力道場認定証」（白帯・茶帯・黒帯）の発行、参加前後のセルフチェックで対話力を数値化する「対話力チェックリスト」など、継続的に対話力を高める取組を行っています。



令和2（2020）年度は、オンラインでの開催で計画しましたが、プログラムの質を保つためにどのような工夫が必要なのか、また適切な参加費、参加人数などについて講師と相談し

て進めました。参加方法は、スタジオ参加とWeb会議参加のハイブリッド形式とし、参加費はこれまで飲食付きの交流会費を含めた5,000円から3,500円へと変更しました。3回開催予定でしたが、2回目は最少催行人数に達せず中止になり、2回開催して10名（全員オンライン）にご参加いただきました。遠隔地からご参加いただいた方などオンラインのメリットも感じられましたが、次回開催に向けては多くの課題が残りました。

「しごと力道場」参加者数

しごと力道場	開催日	会場参加者	オンライン参加者	属性内訳			Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計
				メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
【オンライン】第24回 しごと力道場 ~コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ~	2020/6/20(土)		3名	2名	1名	0名	426名	341名	7名	78名		429名
【オンライン】第25回 しごと力道場 ~コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ~	2020/10/10(土)		中止	-	-	-	329名	233名	6名	90名		329名
【オンライン】第26回 しごと力道場 ~コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ~	2021/1/23(土)		7名	6名	1名	0名	308名	248名	名	60名		315名
	合 計		10名	8名	2名	0名	1,063名	822名	13名	228名		1,073名

- ・講師（師範代/ファシリテーター）：池田正夫さん（人材育成コンサルタント）

- 3 しごと力向上ライブラリ

「しごと力向上ライブラリ」はこれまで103講座331単元を開発しています。学校教育や企業研修の枠を超えて、社会で活躍するために必要な「しごと力」を学べる講座です。視聴後は、レビュー（5段階評価）とコメント投稿機能がありますので、フィードバックを参考によりよい講座を開発をすすめています。

令和2（2020）年度は、14講座を開発しました。上半期には、コロナ禍でのオンラインでの学びを応援するために、「AI社会に求められるしごと力～行動力コンピテンシーの基礎と実践～」（4単元）を4月に毎週1単元公開、また新社会人・大学生向け講座をスピードアップして公開しました。

「しごと力向上ライブラリ」公開一覧

講座名	単元名	再生回数	公開月	オンデマンド レビュー (5段階評価)
AI社会に求められるしごと力 ~行動力コンピテンシーの基礎と実践~	第二部 行動力コンピテンシー(個人的な行動力) 第三部 行動力コンピテンシー(対人的な行動力) 第四部 コンピテンシーの評価と目標設定の活用	125 116 87	4月	4.3
1.お金のトラブル・悩み【マネーリテラシー初級講座】	1-1なぜ大学生は詐欺のターゲットになりやすいのか 1-2アルバイト先を辞めたいのに辞めさせてもらえない 1-3高額商品を購入してしまって後悔 1-4悪質なネットワークビジネスの執拗な勧誘	230 98 82 85	4月	4.7
2.大学生活のお金に困ったら【マネーリテラシー初級講座】	2-1授業料免除制度について 2-2民間の奨学金について 2-3日本学生支援機構について	92 56 53	4月	4.6
3.クレジットカードって何?【マネーリテラシー初級講座】	3-1クレジットカードとは何か 3-2クレジットカードのメリット 3-3クレジットカードのデメリット 3-4リボ払いとは何か 3-5クレジットカードとデビットカードの違い	113 76 65 79 99	4月	4.6
1.就活の準備、採用プロセス、やりたい仕事がない【就職活動って何年生から何をすればいいの?】	1-1就活の準備はいつから始めたら良いか 1-2採用のプロセス 1-3やりたい仕事がない	190 108 110	6月	4.6
2.インターン、大学1年生からやること【就職活動って何年生から何をすればいいの?】	1-4.インターンのメリット 1-5.インターンの探し方 1-6.大学1年生からやるべきこと	85 67 68	6月	4.8
3.就活と資格、SPI、ES【就職活動って何年生から何をすればいいの?】	1-7就活と資格 1-8 SPIの勉強の仕方 1-9エントリーシート(ES)で求められていること	69 61 50	6月	4.6
4.面接、グループディスカッション、グループワーク【就職活動って何年生から何をすればいいの?】	1-10面接でよく聞かれる質問 1-11面接でよくあるNGポイント 1-12GD/GWでは何を見られているのか	67 50 47	6月	4.7
5.オンライン面接【就職活動って何年生から何をすればいいの?】	2-1オンライン面接の事前準備 2-2オンライン面接の当日準備	70 54	6月	4.6
正しく知ろう がんのはなし	1.データで見るがん 2.がんという病気 3.がんの種類と検査 4.がんの治療 5.がん検診について 6.がん検診の対象は健康な人 7.最先端の検査法に効果があるとは限らない 8.がん検診は一回受けて終わりではない 9.情報とがん～正しいがんの情報を見極める～ 10.がんを防ぐための新12か条	114 82 63 97 43 53 31 37 31 29	7月 8月 9月 10月	4.4
ふるさと納税でお得に税金控除と地方応援【マネーリテラシー中級講座】	ふるさと納税やらなきや損 Step1自分の控除上限額を知る Step2買い物をする Step3自治体へ申請書を郵送	128 85 69 63	11月	4.4
落語の舞台から見た法律	解説「政談もの」の舞台裏 落語「鹿政談」金原亭 駒与志(KK2霞が関寄席にて上演) 解説刑法入門「鹿政談」を題材に	123 127 39	11月 12月	4.4
介護離職しない・させない!~ビジネスパーソンが知っておきたい「親の介護」のこと~	はじめに~with介護のためのヒント~ 親が突然倒れた時にやるべきことを知る 介護休業:国や職場の制度について知っておく 親のことを知り、今から準備すること 介護保険について知る	195 120 95 90 93	1月 2月	4.8
しごと力を高めるファシリテーションの極意	1章 ファシリテーションとは	60	3月	4.7



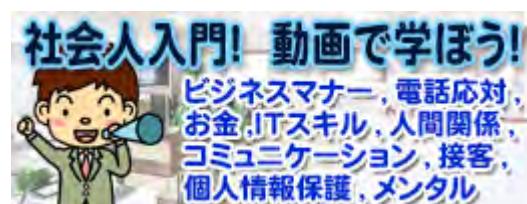


①「新社会人・大学生」向け動画プログラム公開

新年度スタートの4月、多くの新社会人はリモート入社式からそのまま在宅勤務へ、大学生もキャンパスが閉鎖されオンライン授業や自習といった前例のない事態に遭遇し、先行き不安な毎日を過ごすことになりました。このような時期だからこそ是非KK²で学んでいただきたいと新社会人や大学生がオンラインで学べるプログラムを集中して公開しました。

しごと力向上ライブラリ【社会人入門！動画で学ぼう】（24講座65単元）は、KK²若手スタッフが自身の経験をもとにプログラムを再構成し、ビジネスマナーやコミュニケーションスキルを学べるシリーズです。

また、しごと力向上ライブラリ【大学生向け！社会に出る準備】としてDPPを大学の授業で活用いただいている加藤木綿美さん（二松学舎大学国際政治経済学部 国際経営学科 専任講師）にご協力をいただき、「マネーリテラシー初級講座」（4月2日公開）「就職活動って何年生から何をすればいいの？」（6月25日公開）を公開しました。

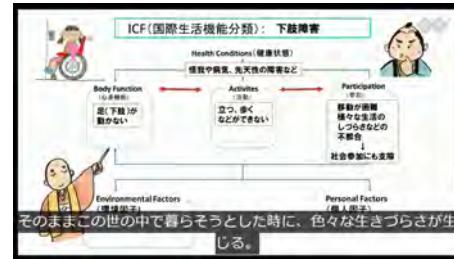


若者が社会に出たときに最低限身につけておきたい知識・スキルを学び、社会とのスムーズな接続を応援することを目指しています。動画に関連する設問にオンラインで回答し、理解度のチェックや他の受講者との回答の違いなど双方向性（Two Way）機能があります。

いずれも、KK²サイトのトップページにバナーを設置しました。

②日本語字幕対応／発達障害啓発週間への協力

聴覚障害の方よりご要望をいただき、新規公開プログラムは日本語字幕対応を行っています。また「みんなちがってすてきだね～自閉症の理解　はじめの一歩～」出演者 山口久美さんのご紹介で、富山県氷見市社会福祉協議会様からの依頼を受け、令和元年度に引き続き、世界自閉症啓発デー（毎年4月2日）、発達障害啓発週間（毎年4月2日～4月8日）に合わせて、能越ケーブルネット様で2020年3月29日（日）から4月4日（土）1日2回放送していただきました。



- 4 コンピテンシー・チェック (Webチェックプログラム) ～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）」について理解し、自分自身の学習課題を知るWebチェックプログラムです。KK²Web会員登録でログインし無料で利用できます。

KK²「コンピテンシー」9項目に関するケーススタディ（ドラマ）を視聴し、自分ならどう考え行動するのかをWeb上に入力します。入力内容と模範回答をセルフチェックし、自分に足りないコンピテンシーについて気付きを促す学習プログラムです。



令和2（2020）年度の延べ受講者は957名でした。昨年度は延べ85名となっており、大きく増加しました。特に「コミュニケーション力」「状況把握力」でそれぞれ400名が受講しています。特定の企業研修で活用いただいたようです。

コンピテンシー・チェック平均スコア (KK² Webでの受講者)

講座名	ケーススタディ	理解度 平均スコア	受講者数
人間関係力 (Feel)	自己認識力 「就職活動」	75.0	62名
	感情マネジメント力 「年下の上司」	70.0	25名
	共感力 「父親の転勤」	24.8	20名
	コミュニケーション力 「バイトのシフト交替」	71.8	400名
問題解決力 (think)	状況把握力 「町のゴミ問題」	50.3	405名
	原因究明力 「パソコン故障の原因」	36.9	13名
	選択決定力 「妹の進路決定」	58.2	11名
	リスク分析力 「犬小屋づくり」	60.0	9名
行動力(Act)	実行力 「アイスホッケーのスターになるために」	46.7	12名
	合計		957名



(5) 文化に親しみ交流する

気軽に文化に親しみ交流する場を提供することを目的としたプログラムです。地域の食文化、伝統芸能や音楽など様々な文化を楽しんでいただきます。（文化庁・霞が関から文化力プロジェクト認定講座）

- 1 食と文化講座

食を通じてさまざまな文化に触れる機会を提供するプログラムです。2020年3月に開催を予定しており延期となっていた「創業130年の老舗ワイナリー「ルバイヤート」の取り組み～“日本ワインの第一人者”大村春夫さんと味わう7種～」を7月10日にスタジオで開催し参加者数は28名でした。withコロナ時代になってはじめての集合形式での開催ということで、講師、参加者のみなさんの安全を第一に様々な対策をとり実施しました。



また、生産量日本一！ 宇和島産のブランド真鯛の魅力 ～「世界を変えるエシカルで面白い“養殖屋”」に聞く～（協力：宇和島市・株式会社ANA総合研究所）を宇和島市、養殖真鯛の生産者、KK²をオンラインで繋ぎ、ライブ配信で3月27日に開催し参加者数は41名でした。事前に試食の真鯛を郵送し、ご自宅でリラックスして楽しんでいただきました。



「食と文化講座」参加者数

食と文化講座	開催日	会場参加者	オンライン 参加者	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)
				メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ			
創業130年の老舗ワイナリー「ルバイヤート」の取り組み～“日本ワインの第一人者”大村春夫さんと味わう7種～	2020/7/10(金)	28名	/	10名	18名	0名	714名	481名	24名	209名	85名	827名	4.7
【ライブ配信】生産量日本一！ 宇和島産のブランド真鯛の魅力 ～「世界を変えるエシカルで面白い“養殖屋”」に聞く～	2021/3/27(土)	/	41名	22名	19名	0名	848名	622名	名	226名	—	889名	—
	合 計	28名	41名	32名	37名	0名	1,562名	1,103名	24名	435名	85名	1,716名	/

- 2 霞が関寄席

気軽に伝統芸能に親しみ、笑いでストレス発散できる場として寄席を開催しています。

2020年5月に1回目の開催を予定し100名以上のお申込みをいたしましたが、開催を8月28日に延期し開催しました。会場は収容率を50%以下とするため「全日通労働組合 8F 大会議室」（230名収容（330m²））に変更し、アクリル板の設置など感染拡大予防を徹底しました。参加者数は86名でした。

2回目は12月9日に開催し、会場の収容率を60%以下に下げスタジオで開催し参加者数は57名、エキスパート俱楽部でのライブビューイングは19名でした。2月26日に開催を予定していた3回目は2021/5/28（金）に延期しました。



「霞が関寄席」参加者数

霞が関寄席	開催日	会場参加者	オンライン 参加者	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数	合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)				
				メンバ	Web会員	一般		PC	タブレット	スマート							
八月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2020/8/28(金)	86名		24名	23名	39名	309名	255名	6名	48名	38名	433名	4.3				
十二月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2020/12/9(水)	57名		25名	16名	16名	580名	435名	9名	136名	71名	637名					
【ライブビューイング】十二月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2020/12/9(水)	19名		7名	4名	8名	182名	135名	0名	47名	—	201名	4.3				
チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志独演 会～絆の心意気～	2021/2/26(金)	延期		—	—	—	248名	182名	17名	49名	—	248名					
エキスパート俱楽部会場【ライブビューイング】チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志 独演会～絆の心意気～	2021/2/26(金)	延期		—	—	—	85名	70名	0名	15名	—	85名					
	合計	162名		56名	43名	63名	1,404名	1,077名	32名	295名	109名	1,604名					

出演：金原亭馬玉さん、金原亭駒与志さん

- 3 「霞が関音楽祭」への協力

文化庁、KK²、霞が関コンゲート、霞が関ビル等が主催するプログラム「霞が関音楽祭」に平成26（2014）年度の開始時より協力しています。文化庁「霞が関から文化力プロジェクト」の一環で、霞が関のにぎわいを創出し、音楽に気軽にふれる機会の提供を目的としています。10月に開催を予定していましたが、延期となりました。

なお「霞が関音楽祭」にご協力いただいております、MuCuL（ミュウカル）様には、会場提供の協力をに行っており2回ご利用いただきました。

- 4 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～ (英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版対応)

KK²開設記念に制作したオリジナル作品「江戸 TOKYO 散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の12景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街並み、人々の営みを映像に収めています。多言語（英語/韓国語/繁体字/簡体字）版をKK²公式YouTubeチャンネルで公開しています。動画視聴回数は、4,587回でした。

* 江戸TOKYO散歩 <http://edo-tokyo-sanpo.com/>



「江戸TOKYO散歩」動画視聴回数

動画視聴回数	日本語	英語	韓国語	中文簡体	中文繁体	合計
プロローグ	1,053	18	28	20	22	1,141
Vol.1 「虎の門外あふひ坂」(虎ノ門)	281	26	28	26	29	390
Vol.2 「浅草金龍山」(浅草)	148	10	21	15	17	211
Vol.3 「湯しま天神坂上眺望」(湯島)	138	7	23	19	130	317
Vol.4 「する賀てふ」(日本橋三越前)	625	21	104	38	16	804
Vol.5 「山下町日比谷外さくら田」(日比谷)	78	7	15	5	6	111
Vol.6 「飛鳥山北の眺望」(王子・飛鳥山)	109	18	11	5	16	159
Vol.7 「大はしあたけの夕立」(新大橋)	178	22	26	3	13	242
Vol.8 「堀切の花菖蒲」(堀切)	79	39	12	11	20	161
Vol.9 「はねたのわたし 犬天の社」(羽田)	66	13	12	5	11	107
Vol.10 「両国花火」(両国)	118	10	46	9	8	191
Vol.11 「京橋竹がし」(銀座)	180	12	43	10	15	260
Vol.12 「四ツ谷内藤新宿」(新宿)	389	44	21	20	19	493
合計	3,442	247	390	186	322	4,587

(6) 事業運用全般

- 1 自主企画プログラムと延べ参加者数

令和2（2020）年度は、自主企画プログラム、動画プログラム開発について106件、実施しました。KK²会場での参加者が259名、リモート参加者は453名です。Webページ訪問者数は22,320名、動画プログラム視聴者/Web実施者が10,900名、合計延べ34,345名の方に参加・学習していただきました。

プログラム内容	実施回数 および コンテンツ数	リアル 会場 参加者	リモート 参加者	属性内訳			Webページ 訪問者合計	Web訪問者内訳			動画視聴者数/ Web実施者	合計
				メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
個人の「レジリエンス」を学ぶ												
霞が関坐禅会	3		89名	87名	2名	0名	2,640名	2,059名	71名	510名	324名	3,053名
タフな心の育て方	4		216名	185名	31名	0名	4,212名	3,297名	107名	808名	220名	5,135名
KK ² キヤリア相談室	3		3名		3名		1,590名	1,057名	38名	495名		1,590名
コンビテンシーチェック	1						2,443名	2,144名	40名	259名	957名	3,400名
組織・地域を担うしごと力を学ぶ												
エキスピート・スタジオ	1		28名	22名	6名	0名	1,042名	855名	17名	170名	151名	1,221名
しごと力道場	3		10名	8名	2名	0名	1,063名	822名	13名	228名		1,073名
しごと力向上ライラリ	14						5,624名	3,587名	94名	1,943名	4,419名	10,043名
文化に親しみ交流する												
食と文化講座	2	28名	41名	32名	37名	0名	1,562名	1,103名	24名	435名	85名	1,716名
霞が関寄席	5	162名		56名	43名	63名	1,404名	1,077名	32名	295名	109名	1,604名
音楽・文化活動への支援	1	40名				40名						40名
江戸TOKYO散歩	65											4,587名
産学官連携支援事業/教育のデジタル化												
教育のデジタル化研究会	4	29名	66名	88名	7名	0名	740名	659名	0名	81名	48名	883名
合 計	106	259名	453名	478名	131名	103名	22,320名	16,660名	436名	5,224名	10,900名	34,345名

自主企画プログラムと延べ参加者数

- 2 メンバー数およびWeb会員数

① 協賛・法人メンバー数

協賛・法人メンバー数は、新規入会2団体、退会1団体となりました。

メンバー種別	メンバーの種類	年会費（税込）
協賛メンバー	民間企業・各種団体	一口132,000円/年、一口以上
	NPO法人	一口66,000円/年、一口以上
	大学・専門学校	一口66,000円/年、一口以上
一般法人メンバー		一口132,000円/年、一口以上
Web会員		無料（登録制）

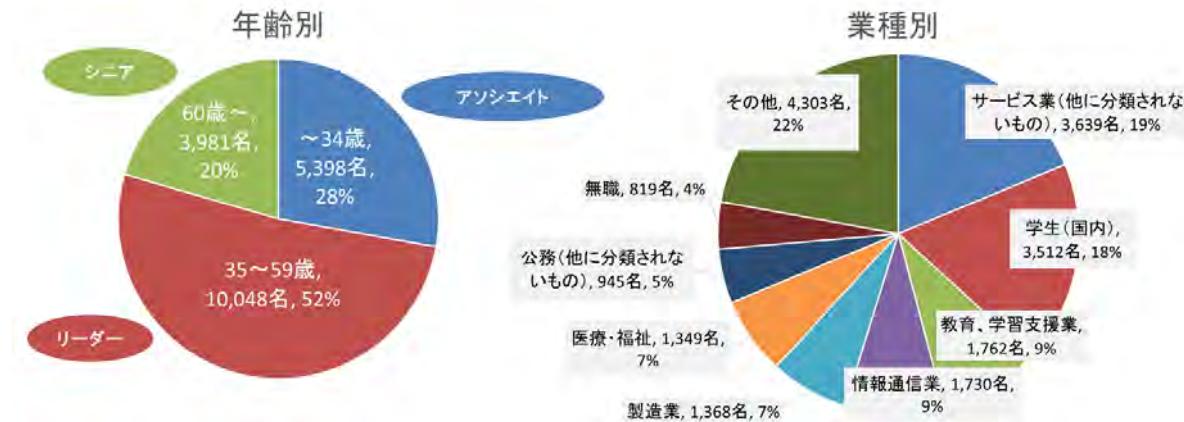
メンバー数	協賛メンバー			法人メンバー	Web会員
		民間企業・各種団体	NPO法人	大学・専門学校	
令和2（2020）年度	30	24	2	4	4
令和元（2019）年度	29	22	2	5	4
					19,427
					14,580

なお、AVCCと相互協力協定（MOU）を締結している団体は以下のとおりです。KK²事業に多方面でご協力をいただいております。（順不同）

- [一般社団法人 長洞元氣村](#)
- [社会福祉法人 スマイリング・パーク](#)
- [社会福祉法人 むそう](#)
- [NPO法人「居場所」創造プロジェクト（居場所ハウス）](#)
- [やねだん自治公民館](#)
- [一般社団法人 話力総合研究所](#)
- [株式会社タフ・ジャパン](#)
- [プラチナ構想ネットワーク](#)

② Web会員数～KK²で学ぶ人、急増！～

KK²Web会員登録者数は19,427名、年代ではアソシエイト（～34歳）が約30%、リーダー（35歳～59歳）が約50%、シニア（60歳～）が約20%となっています。サービス業、学生、教育・学習支援業、情報通信業、製造業、医療・福祉、公務等、多様な職種の方々に学んでいただいている。



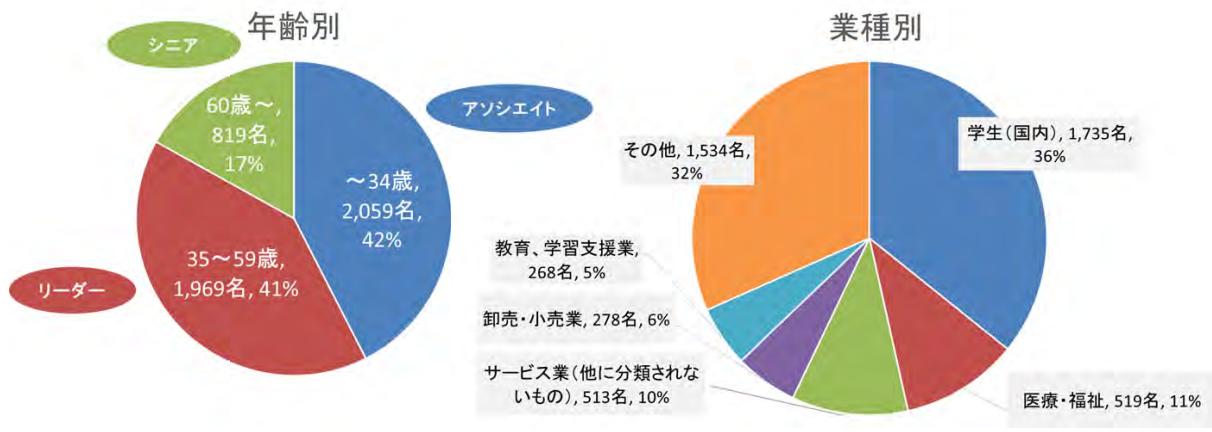
Web会員属性（2021年3月31日現在 19,427名）

Web会員登録者数は、例年1,000名前後の増加でしたが、令和2（2020）年度は、4,847名と大きく増加しました。



新規登録者の属性は以下となります。全体の属性と比較すると、約40%が学生となっており、若い世代の方達の登録が増えました。DPPを大学の授業で活用いただいたこと、また学生向けのプログラムの充実を図ったことなども要因と考えられます。

また「ふわりんくる～じょんSD」(5月30日/10月31日開催/社会福祉法人むそう様)の参加者それぞれ約300名、「やねだん故郷創世塾～卒塾生と塾長が語る withコロナ、常態化する自然災害に適応する地域活動について～」(10月3日開催)の参加者約300名、コンピテンシー・チェック受講者 約900名なども新規登録者数を牽引したと見られます。



- 3 施設貸出サービス

新型コロナウイルス感染症拡大防止および政府の緊急事態宣言を受け2020年4月13日～5月30日の間、予約のない営業日についてはレンタルスペースを休館しました（2回目以降の緊急事態宣言発出時は、感染対策を充分に行つた上、通常通り開館しています）。

上期は集合形式でのご利用は相次いでキャンセルとなり大きく減少しましたが、Web会議やライブ配信等オンラインサービスの充実を図り、徐々に下期に持ち直すことができました。（詳細は「①オンラインプラットフォーム」参照）

実績としては、スタジオ107回、ラウンジ16回の施設貸出を行い、エキスパート俱楽部のランチ利用者を含め、延べ4,679名の方にご利用いただきました。

なお「ラウンジ」は、2020年9月30日をもってレンタルスペースサービスを終了し、それに伴い「レンタルスペース利用規約」「メンバー規約」の変更を行いました。

交流カフェ「エキスパート俱楽部」は、引き続きランチ・カフェ運営を社会福祉法人むそう様と協力し、障害をもった方たちの働く場所としての活用をしていただきました。

	スタジオ				ラウンジ		エキスパート俱楽部				KK ² 施設利用者数合計
	利用者数計	KK ² 主催事業参加者	レンタルスペース/パーティ利用者	貸出回数	レンタルスペース利用者	貸出回数	利用者数計	ランチ利用者	レンタルスペース利用者	貸出回数	
2020年度	2,146名	713名	1,433名	107回	135名	16回	2,398名	2,383名	15名	1回	4,679名
2019年度	7,404名	1,689名	5,715名	142回	1,626名	105回	8,770名	7,420名	1,350名	50回	17,800名

※協賛プログラム参加者、カウンセリングプログラムは、KK²主催事業に含む

施設貸出状況

① オンラインプラットフォームの充実

2020年3月より新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、集合形式でのレンタルスペースのご利用はほとんどキャンセルになり貸出業務は低迷しました。一方で、KK²の強みである、オンラインでのセミナーや会議、委員会開催などのご相談が増えてきました。開設当初から提供してきたKK²ライブ配信サービスに加え、お客様のニーズに合わせ、各種Web会議（Zoomミーティング、Zoomウェビナー1000、GoogleMeet、CiscoWebex Meetingsなど）のサービスの充実を図り、スタッフのスキルアップにもつとめてまいりました。

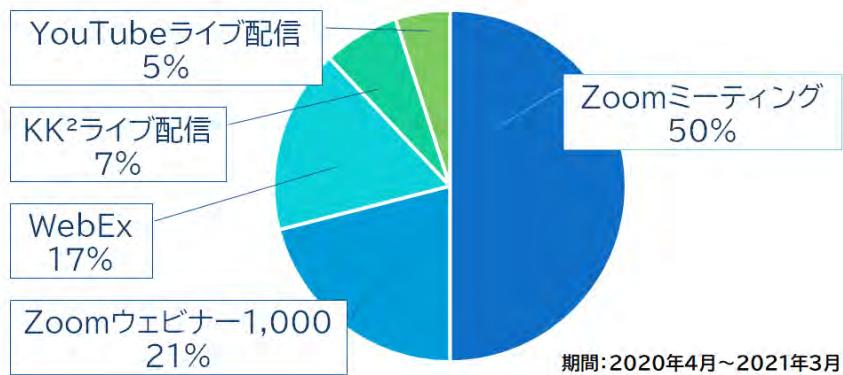
実施イメージ：Web会議（Zoom/Zoomウェビナー）をライブ配信 Webex, GoogleMeet 対応可



KK²スタジオオンライン利用イメージ

また、スタジオ利用の107回のうち、当施設でご用意したライブ配信やWeb会議等オンラインでのご利用は42回となりました。このグラフは、オンライン利用の内訳です。

KK²でご利用いただいたオンラインイベント利用実績



スタジオ オンライン利用実績の内訳

霞が関近隣の省庁にも多数ご利用をいただきました（厚生労働省、環境省、総務省、文部科学省ほか）。とくに、会場参加とリモート参加が混在するハイブリッド形式のオンラインイベント（会議や委員会）は、音声のハウリングなどトラブルや、リモート参加の講師などのWeb会議操作のトラブルなども多いため、KK²の設備とKK²スタッフのトータルなサポートを有効に活用いただいているます。

会場参加もリモート参加も、平等に発言できる
スクリーンへの投影資料は参加場所に関わらず表示可能

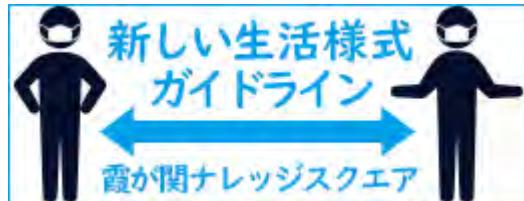


写真:Zoomミーティングイメージ



① 「新しい生活様式」ガイドラインの策定

2020年7月に「[新しい生活様式](#)」ガイドラインを策定し、レンタルスペースの運営、プログラムの開催について、ガイドラインに沿って実施しました。バナーを作成し、KK²サイトのトップページで公開しました。随時国や東京都、業界団体が提示するガイドラインに準じて、ブラッシュアップしています。また東京都の「感染防止徹底宣言ステッカー」を取得しました。



- 4 委員会・会議等の開催

① KK²運営委員会の開催

文部科学省と、KK²が入居する霞が関コモンゲートの霞が関PFI株式会社が主催する霞が関ナレッジスクエア事業のモニタリング機能として運営委員会を開催しています。令和2（2020）年度は、第1回（上期「令和元年度事業報告」）6月17日（水）、第2回（下期「令和2年度上期事業報告」）12月16日（水）、いずれもオンラインで開催しました。

【参加委員】（敬称略）

KK²有識者委員

福田 猛 氏（一般社団法人大学技術移転協議会 前事務局長）

藤野 仁三 氏（前東京理科大教授/知財コンサルタント）

霞が関 7号館PFI 株式会社

園部 稔雄 氏（東京建物株式会社 ビルマネジメント第一部長）

佐々岡慶介 氏（大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部）※第1回のみ

渡辺 優也 氏（大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部）※第2回のみ

関 朋一 氏（株式会社久米設計 総務本部 人事部 部長）

臼倉 毅 氏（日鉄エンジニアリング株式会社 建築・鋼構造事業部 プロジェクト部）

※欠席（第1回・第2回いずれも）

文部科学省 大臣官房会計課様

平原 章次 氏（日鉄エンジニアリング株式会社 建築・鋼構造事業部 プロジェクト部）

■ KK²

久保田 了司（AVCC理事長／KK²代表）

伊庭野 基明（AVCC 理事／KK² グローバル キャリアカウンセラー）

伊藤 健二（KK² 産学官連携主席研究員／三幸学園 理事長特別補佐（戦略担当））

事務局 山田瑞恵／畠山奈緒美

② KK²定例会開催

毎週水曜日にKK²定例会を開催し、事業全般について定期的に議論をしています。参加者は、久保田了司（KK² 代表）、伊藤健二（KK² 産学官連携主席研究員）、伊庭野基明（KK²グローバルキャリアカウンセラー）、華井弘子（「エキスパート俱楽部」ゼネラルマネージャー）、事務局です。貸し出し状況やWebのアクセス状況、プログラム関連をテーマに取り上げています。49回開催しました。

- 5 メールマガジン「メッセージ from KK²」発行

Web会員向けにメールマガジン「メッセージfromKK²」を発行し、KK²のプログラム紹介やお知らせを週に1回発信しています（2021年1月4日配信 662号から金曜日配信→月曜日配信へ変更）。巻頭言「メッセージfromKK²」は、KK²開催プログラムと連動した「人と人との絆と地域再生」や「キャリア」「学び」をテーマにしています。52回発行し、通巻で第674号となりました。（2021年3月29日現在 購読者数15,614人）

・主な執筆者：久保田了司（KK²代表）/伊藤健二（KK²産学官連携主席研究員）/伊庭野基明（KK²グローバルキャリアカウンセラー）/華井弘子（「エキスパート俱楽部」ゼネラルマネージャー）

・開封率（黄色部分は開封率 20% 以上）

配信日	号数	タイトル	執筆者	開封率
2021/3/29	674	オンラインイベント開催のお悩みはKK2へお気軽に！－4/15,27オンライン相談会受付中－	山田	21.21%
2021/3/22	673	多様性の今こそ必要なコミュニケーション力「アサーション」をご存じでしょうか？	華井	16.27%
2021/3/15	672	アメリカの大学でも課題、「オンライン授業の質の改善」－DPPのトライアル利用を！－	伊庭野	16.02%
2021/3/8	671	大学生の中退者・休学者、そして生活充実度は？1万人の学生調査結果！	伊藤	21.68%
2021/3/1	670	リモート授業？対面授業？頭痛める先生方に！[対面]+[リモート]=[ハイブリッド]授業を実現するDPPを提供します！	久保田	21.94%
2021/2/22	669	「食と文化講座」オンラインで開催します！－宇和島産ブランド真鯛をご紹介－	華井	15.96%
2021/2/15	668	2回目の緊急事態宣言解除後に向けた準備？オンラインイベントの準備で加速？	伊藤	17.40%

2021/2/8	667	「KK2キャリア相談室」をオンラインで開始します —変化への対応—	伊庭野	16.61%
2021/2/1	666	緊急事態宣言解除の日はくるのか？－感染し自宅療養した職員Aさんから学んだ「戒め」－	久保田	17.25%
2021/1/25	665	「New Normal」から多様な働き方・生き方の実現へ	華井	16.67%
2021/1/18	664	今までに経験のない変化の時代で生きる力－今こそ、レジリエンス－	伊庭野	16.66%
2021/1/11	663	2021年、明けましておめでとうございます。2回目の緊急事態宣言、COVID-19との勝負の1月へ	伊藤	23.14%
2021/1/4	662	東日本大震災・原発事故から10年、COVID-19と共に「活潑澁地」に行動しよう！	久保田	16.91%
2020/12/25	661	「食と文化」に触れながらSTAY HOMEでおすすめ動画～新たな希望の年へ	華井	15.20%
2020/12/18	660	正解の無い世界で答えを探すから—外から内を見る目と自分の頭で考えること—	伊庭野	15.97%
2020/12/11	659	第3波の現状、年末には1.56倍の感染者数の予測、皆さまはどのような打ち手を考えますか？	伊藤	22.52%
2020/12/4	658	総合的・俯瞰的に見た、COVID-19と人間の行動変容	久保田	16.57%
2020/11/27	657	KK2は「デジタル公民館」、“自分で自分を育てる”人を応援します！	華井	16.04%
2020/11/20	656	AI社会に入る今、物事の道理をわきまえ知る者－「弁理士」という職業－	伊庭野	16.35%
2020/11/13	655	「GoToトラベル」の効果とコロナ対策のガイドラインは？	伊藤	17.16%
2020/11/6	654	COVID-19と人間の調和 「The Hammer “or” the Dance」	久保田	17.25%
2020/10/30	653	日々アップデートする「デジタル公民館 KK2」	山田	16.45%
2020/10/23	652	GoToワイナリー！飲んで応援「日本ワイン」	華井	16.30%
2020/10/16	651	「であること」から「すること」へ－官も民も皆が変わる社会－	伊庭野	17.00%
2020/10/9	650	コロナ禍で前提になるオンライン会議などのITリテラシー！2021年迄にどう高めますか？	伊藤	16.86%
2020/10/2	649	デジタル庁創設に愚見述べさせていただきます	久保田	24.54%
2020/9/25	648	日本各地の食文化から地方創生へ…今こそ各地の魅力を発見！	華井	22.57%
2020/9/18	647	菅首相に求められるコンピテンシー－皆さんはどう考えますか？－	伊庭野	17.66%
2020/9/11	646	恒久化に向かうオンライン教育に関する様々な大学の実態を探る－オンライン講演会（授業）アンケートご協力お願いします！－	伊藤	17.76%
2020/9/4	645	焦らない、でも諦めない、やねだんに学ぶ！－10/3開催オンライン「やねだん故郷創世塾」－	久保田	16.87%
2020/8/28	644	コロナ禍がもたらす柔軟で多様な働き方と学び方－特別な夏休みから－	華井	16.00%
2020/8/21	643	withコロナ時代の「考え＆学びのマラソン」－共に担う社会へ－	伊庭野	17.14%
2020/8/14	642	オンライン教育は大学でどの程度提供され、学生は学習できているか？学生の気持ちは？	伊藤	18.45%

2020/8/7	641	国民はやるべきことをやっている、国がやるべきことは感染者の「隔離」と「生活補償」です！	久保田	17.77%
2020/7/31	640	創業130年の老舗ワイナリー「レバイヤート」の取り組みを動画公開しました	華井	16.94%
2020/7/24	639	KK2「新しい生活様式」ガイドラインを公開しました	山田	24.20%
2020/7/17	638	変化と進化 -KK2も新しい次元へ-	伊庭野	18.27%
2020/7/10	637	COVID-19との共存に向けて「新しい生活様式」の試行錯誤、オンラインとリアルで準備すること？	伊藤	23.79%
2020/7/3	636	第2波が予想されるCOVID-19とどう「共生」するか？	久保田	25.01%
2020/6/26	635	新たな日常、新たな日本の魅力再発見	華井	17.60%
2020/6/19	634	今できる事-withコロナ時代で役立つ3つのC-	伊庭野	18.16%
2020/6/12	633	COVID-19と共に存する「働き方改革」に向けて緊急事態宣言解除の今だからこそ考えること？	伊藤	19.66%
2020/6/5	632	COVID-19と人間の調和	久保田	21.09%
2020/5/29	631	オンラインで学ぶ・交流する-コロナとの共存をめざすKK2のプログラム-	山田	20.42%
2020/5/22	630	「新しい生活様式」と共に変化する食のスタイル -テイクアウト&デリバリーの日常使い-	華井	20.10%
2020/5/15	629	やるべきことをやる-ピンチをチャンスへ-	伊庭野	23.82%
2020/5/8	628	5月7日、緊急事態宣言の延長「新しい生活様式」として今何をするか？	伊藤	24.24%
2020/5/1	627	「自国第一主義 vs. 国際協調」-コロナ禍で明らかになった各国の対応力の違い-	久保田	22.98%
2020/4/24	626	働く母親の多様な働き方改革とは？-将来を見据えたキャリア形成へ、今できる事-	華井	21.39%
2020/4/17	625	日本社会の行動変容-今、一人ひとりが考える-	伊庭野	22.02%
2020/4/10	624	4月7日、緊急事態宣言が発令！今こそプラス思考の人は何をする？！	伊藤	23.36%
2020/4/3	623	こんな夢を見た！-人間は自分達も自然の一部だということを忘れている-	久保田	20.42%

- 6 情報発信（Web、SNS等）

① KK² Web、SNS

KK² Webサイトは、学びのサイトとして運営しており、「教育のデジタル化」の推進の場として活用しています。KK²では「KK²会場」「ライブ配信」「オンデマンド視聴」で学べる機会を用意しています。自主企画プログラムは、収録を行いWebプログラムとして公開、いつでも誰でも無料で学べる環境を提供し、現在1,700本を超える動画プログラムを開いています。スマートフォン、タブレットにも対応しています。

また、より多くの方にKK²の情報を届けするためにSNS（Facebook、YouTube等）を活用した情報発信を行っています。YouTubeではプログラムの一部を公開し、KK² Web

サイトへの誘導を図っています。

- ・ KK²webサイト <https://www.kk2.ne.jp/>
- ・ KK²公式Facebook <https://www.facebook.com/KK2kasumigaseki/>
- ・ KK²公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCTn6A9AdcTgZhIBPX4ihES>
- ・ KK²公式Twitter
<https://twitter.com/KK2Kasumigaseki>



②文部科学省メルマガ「マナビィ・メールマガジン」記事掲載

平成30年7月より、文部科学省総合教育政策局が発行する生涯学習関連情報のメルマガへ「マナビィ・メールマガジン」に定期的に記事掲載をしています。毎月1回（8日発行）の記事掲載でしたが、令和2年8月より毎月2回（8日/24日発行）KK²事業についてご紹介しています。18回掲載していただきました。

「マナビィ・メールマガジン」

<https://www.mext.go.jp/magazine/backnumber/1263046.htm>

III 地域・社会サービスのデジタル化を支援します

（1）システムコンサルティング業務

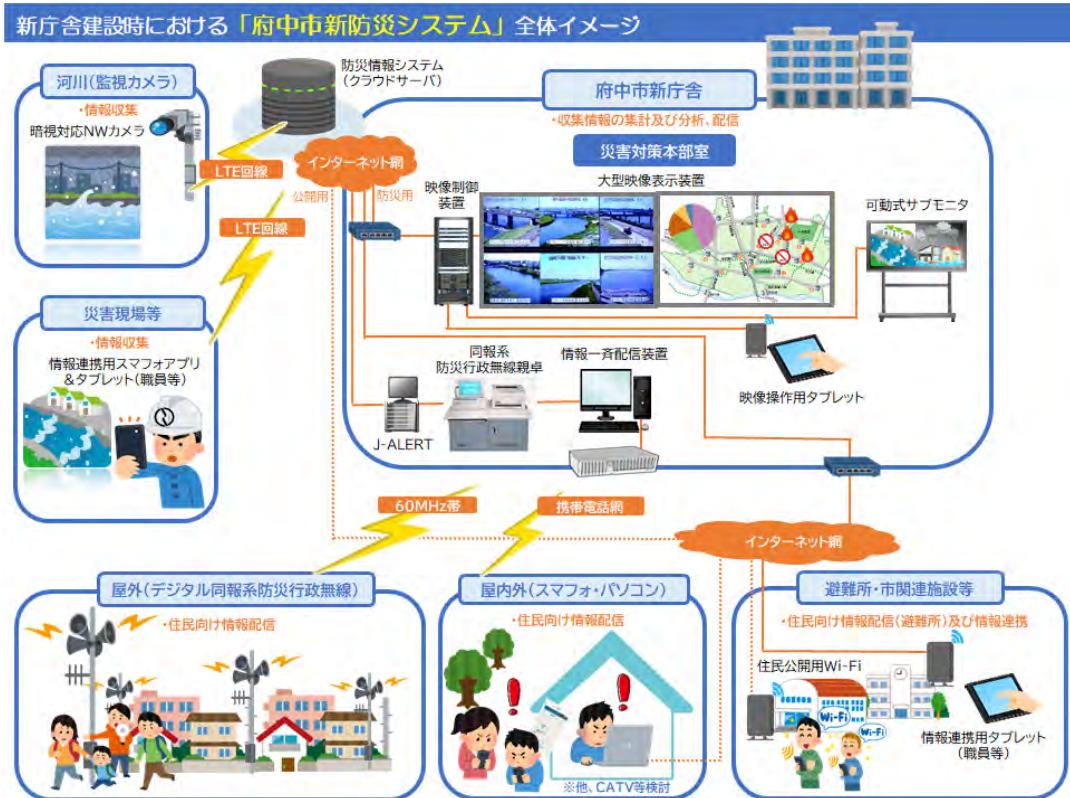
- 1 防災情報システム総合コンサルティング業務

災害時における災害対策本部等での「情報収集（災害現場から等）～情報共有（庁内や関連施設等）～情報配信（住民や関連各所）」を迅速かつ効果的に管理するシステムの導入に向けた設計や導入に向けた支援を行った。

東京都文京区では、令和元年（2020）年度の調査業務に続き、令和2年（2021）年度では「新たな防災情報システムの導入」及び「災害対策本部の改修」に伴う業者選定支援業務を行った。支援業務内容としては、業者提案書提出のための要件仕様書や図面、評価表等の作成や業者質問の回答案の作成。

東京都府中市では、同報系防災行政無線のデジタル化の実施設計と共に、2026年11月に竣工予定の新庁舎建築に併せて整備を行う「新防災システム」の基本構想作成を行った。

栃木県小山市では、令和元年（2019）年度の新庁舎建築に伴う新防災システムの設計と業者選定支援に続き、構築に向けての施工監理業務を行った。（工期延長に伴い、令和3年（2022）年度6月末まで監理業務も延長）



「府中市新防災システム 基本構想より」

– 2 地域情報化計画策定支援業務

自治体の総合計画を上位計画とし、自治体の情報化推進計画を示すものであるが、近年では行政の情報化の他にも、市民参画や官民協働に基づいたICT化についても計画に盛り込んだ策定を行っている。また、策定する計画は、「官民データ活用推進基本方法」に基づき、「官民データ活用推進計画」としても活用できる計画として策定した。

山梨県市川三郷町では、令和元年（2020）年度の住民アンケート及びニーズ分析に続き、令和2年（2021）年度では、課題の整理と整備方針、具体的な情報化施策の計画策定を行った。

東京都武蔵村山市では、プロポーザルにより本業務を受注し、住民アンケートからニーズ分析、課題の整理と整備方針、具体的な情報化施策の計画策定を行った。



– 3 教育・文化施設等における情報システム構築支援業務 (G I G Aスクール構想推進支援)

文部科学省が推進する、小中学校への1人1台端末環境の整備にあわせ、小中学校の通信環境を改善し、高速大容量の通信を行えるよう、すべての普通教室・特別教室・体育館・保健室等で無線LANが利用できるように、アクセスポイントを設置し、センタースイッチやフロア

スイッチ、生徒全員の端末を収納できる電源キャビネット等を整備するための設計及び監理業務を行った。

令和2年（2021）年度は、以下の市町村において、校内情報通信ネットワーク設計・監理に係る業務を行った。

- ① 富山県黒部市（実施設計業務）
- ② 富山県滑川市（実施設計業務）
- ③ 富山県立山町（実施設計業務・監理業務）
- ④ 東京都武蔵村山市（実施設計業務）
- ⑤ 東京都東大和市（実施設計業務）
- ⑥ 山梨県都留市（実施設計業務・監理業務）
- ⑦ 山梨県富士川町（実施設計業務・監理業務）

GIGAスクール構想



「GIGAスクール構想 イメージ」（出典：総務省ホームページ）

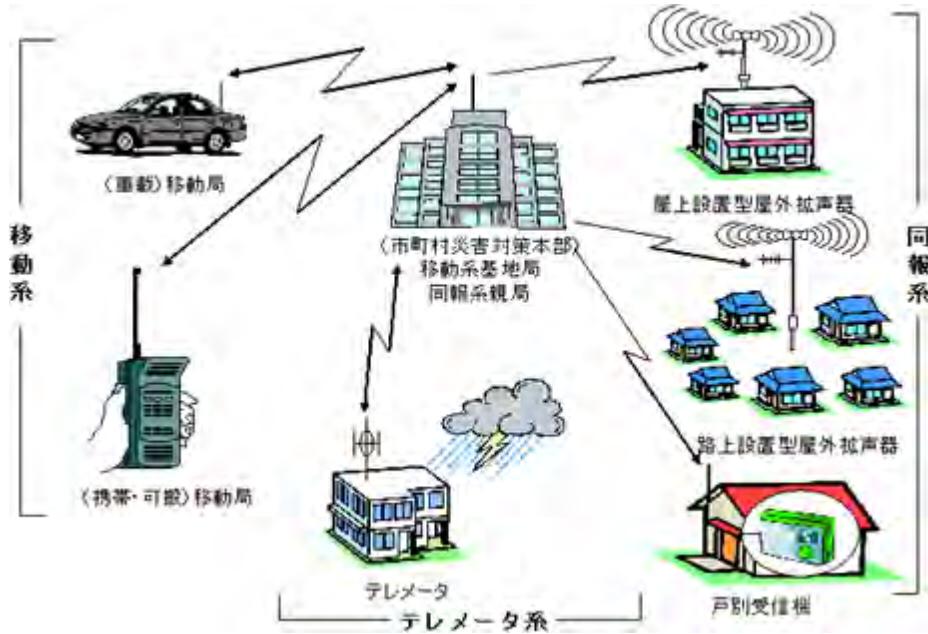
(2) ネットワークコンサルティング業務

- 1 防災行政無線コンサルティング業務

全国の市町村防災行政無線は、同報系システムで約8割、移動系システムで約7割の自治体が整備している。これから防災行政無線を整備する市町村とともに、従来のアナログシステムからデジタルシステムへ移行する市町村防災行政無線の調査・設計、施工監理業務を行った。

令和2年（2020）年度は、以下の市町村において、防災行政無線を使用した同報系・移動系ネットワークの調査・設計に係る業務を行った。

- ① 東京都府中市 （同報系デジタル化の実施設計業務）
- ② 長野県朝日村 （移動系デジタル化の実施設計業務）
- ③ 鹿児島県伊佐市 （同報系デジタル化の実施設計業務）
- ④ 鹿児島県瀬戸内町 （同報系デジタル戸別受信機設置の設計業務）



「防災行政無線イメージ」（出典：総合通信局ホームページ）

また、以下の市町村において、防災行政無線を使用した同報系・移動系ネットワーク構築の施工監理業務を行った。

- ① 北海道長沼町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ② 北海道北竜町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ③ 北海道佐呂間町 (移動系デジタル化の施工監理業務)
- ④ 茨城県潮来市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑤ 埼玉県横瀬町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑥ 埼玉県杉戸町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑦ 千葉県八千代市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑧ 千葉県酒々井町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑨ 東京都墨田区 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑩ 東京都足立区 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑪ 東京都武蔵野市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑫ 東京都町田市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑬ 東京都あきる野市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑭ 東京都瑞穂町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑮ 東京都利島村 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑯ 東京都八丈町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑰ 神奈川県三浦市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑱ 富山県滑川市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑲ 山梨県都留市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ⑳ 長野県軽井沢町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉑ 長野県木曽町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉒ 長野県高山村 (移動系デジタル化の施工監理業務)

- ㉓ 徳島県松茂町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉔ 徳島県板野町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉕ 愛媛県八幡浜市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉖ 高知県 (県防災無線の施工監理業務)
- ㉗ 高知県土佐清水市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉘ 高知県安田町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉙ 高知県梼原町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉚ 福岡県小竹町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉛ 長崎県西海市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉜ 長崎県波佐見町 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉝ 熊本県高森町 (移動系デジタル化の施工監理業務)
- ㉞ 大分県臼杵市 (同報系デジタル化の施工監理業務)
- ㉟ 鹿児島県伊佐市 (同報系デジタル化の施工監理業務)

(3) 防災無線設備（鋼管柱）劣化度調査業務

防災行政無線の受信設備（子局）やスピーカーを設置する鋼管柱は、一般に30～40年が耐用年数とされているが、設置環境等により想定よりも柱内部の腐食が進んでいる場合がある。本業務では、目視による定期点検等では確認できない柱内部の腐食具合や塗装状況等を各種測定器を使用し、鋼管柱の継続使用の可否や交換に関する提言を行っている。

東京都狛江市では、市内に設置されている防災行政無線支柱26基のうち、昭和55年に設置した23基を対象に、柱の腐食劣化の状況及び腐食進捗度を超音波及び塗膜測定器により調査し、支柱の補修、交換等の検討に資するデータを取得し、交換時期の提言を行った。

「自走式 超音波センサー」で鋼管全周を調査

自走式超音波センサーが鋼管全周をスクリーニングすることで、GL下の腐食状況を正確・確実に把握できます。
調査結果はリアルタイムで画像展開図により確認できます。

自走式超音波センサー

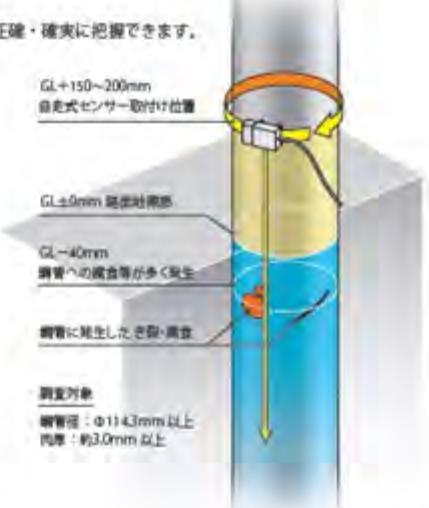


自走式超音波センサーが鋼管に取付け、
全周をスクリーニングします。

調査結果事例



調査結果はリアルタイムに地図へ送信され、
塗面部分の腐食状況が瞬時に把握できます。



短時間で測定可能

調査は自走式センサーの取り付けから、調査・撤去まで、約20分で完了します。

調査効率の大大幅な向上により、工期の短縮、コストの低減はもちろん、多様な環境での調査が可能となります。

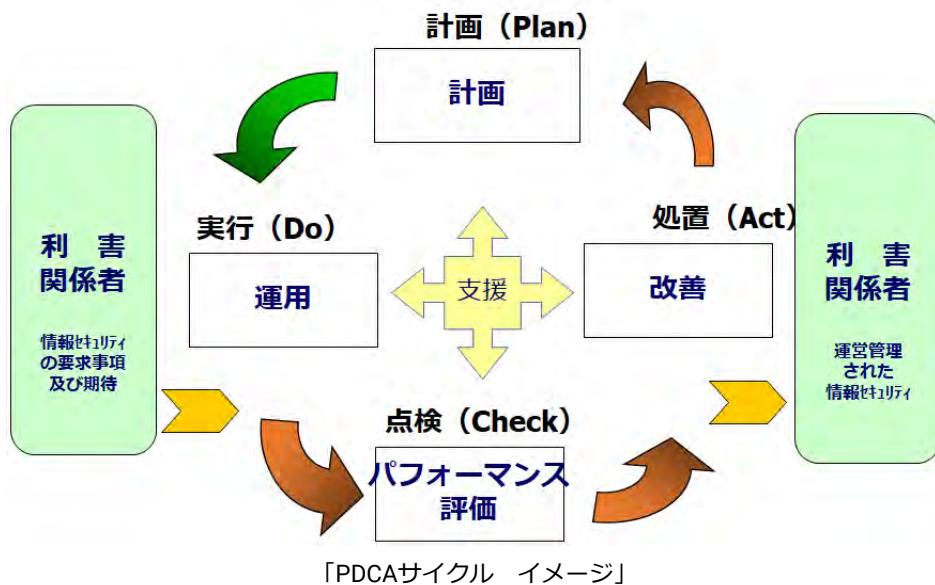
「超音波調査の方法」

(4) 情報セキュリティコンサルティング業務

- 1 ISMS構築及びISO27001認証取得支援業務

ISO27001認証取得のために、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム構築及び、関連の文書作成、各種研修等のコンサルティングを行った。

青森県、長野県の国民健康保険団体連合会では、今年度ISO27001認証取得を目指すための支援を行った（継続中）。また、山梨県、静岡県の国民健康保険団体連合会においてはISMS運用及び認証維持係るコンサルティングを行っており、今後も他県の同様団体へのコンサルティングが期待されます。

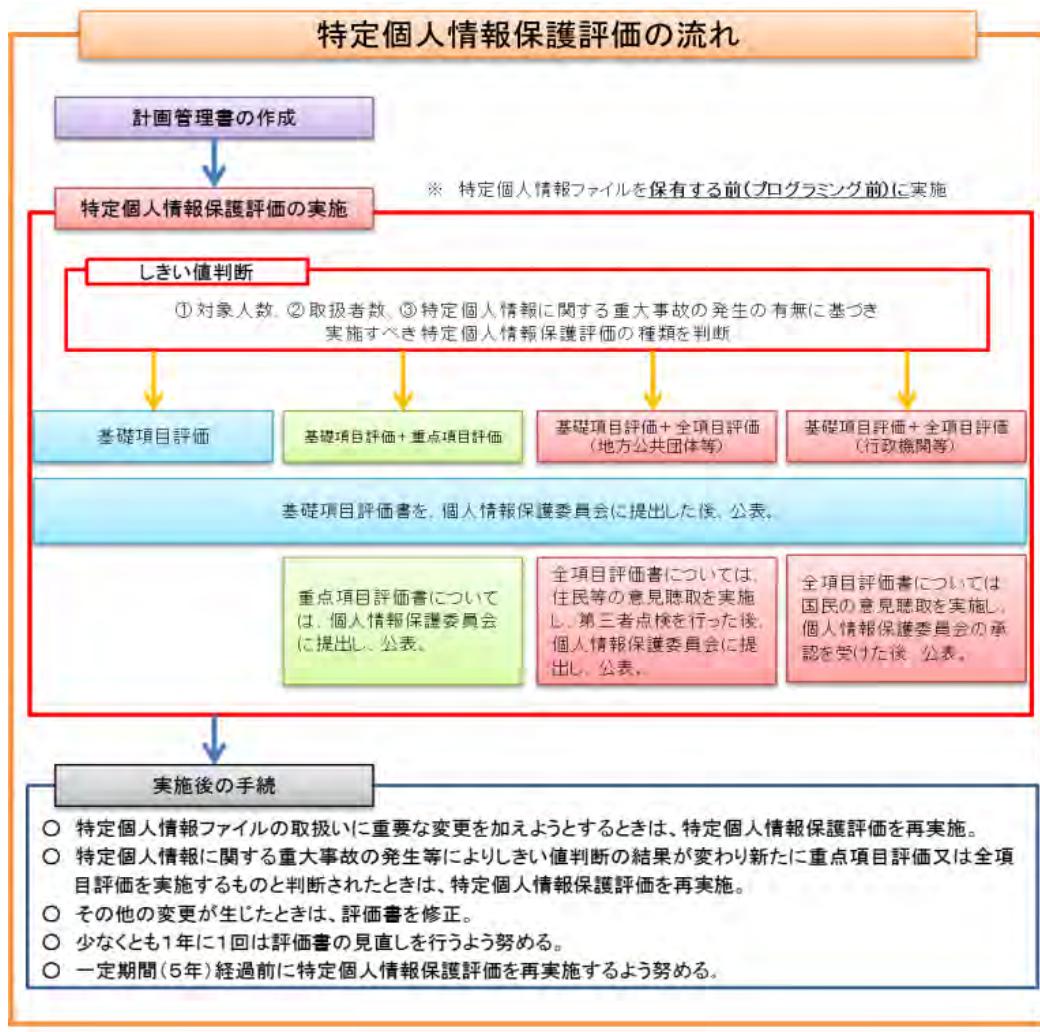


- 3 情報セキュリティ、特定個人情報コンサルティング・監査業務

千葉県教育委員会において、種類の異なる高等学校4校における情報資産の分類、規程類の改定に関する助言、改定案の提示等のコンサルティングを行った。

山梨県笛吹市と同県市川三郷町では、情報セキュリティ外部監査および内部監査のための監査員研修を実施しました。昨年度のフォローアップアップ監査の他、情報セキュリティアンケートを実施し、自己点検が行えるよう支援を行った。

東京都江戸川区では、特定個人情報の管理状況について、特定個人情報を取り扱う事務を対象に、外部の第三者による専門的な視点から、特定個人情報保護評価（PIA）や江戸川区で定めた管理基準等に基づき、助言型監査を実施した。



「特定個人情報保護評価の概要」（出典：東京都ホームページ）

(5) TV会議システム運用業務

独立行政法人国際協力機構（JICA）では、2017年5月まで、JICAにおけるTV会議システムの運用業務を当財団に委託していましたが、2017年6月より5カ年間は、「国際協力機構コンピュータシステム運用等業務」の中にTV会議システム運用業務を含めた業務内容で、アクセセンチュア株式会社に委託することになった。

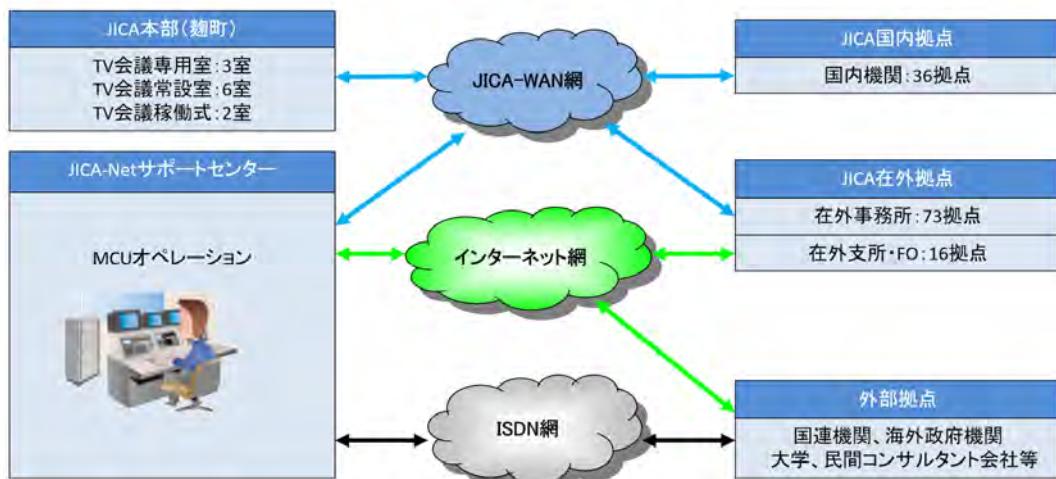
そこで、当財団では、令和2（2020）年度はアクセセンチュア株式会社から「TV会議システム運用業務」の部分を受託し、JICA内に業務従事者を配置し、以下のようなTV会議システム運用業務や付随する業務を行った。

- ①TV会議予約管理業務
- ②TV会議相互接続オペレーション業務
- ③TV会議室、TV会議機器管理業務
- ④TV会議機器保守サポート業務
- ⑤TV会議グローバルヘルプデスク業務
- ⑥TV会議システム更新に伴うコンサルティング業務
- ⑦TV会議新設拠点への導入サポート業務

令和2（2020）年度のTV会議実績は以下の通りです。

- ・TV会議件数：約600件
- ・TV会議接続時間：約1700時間

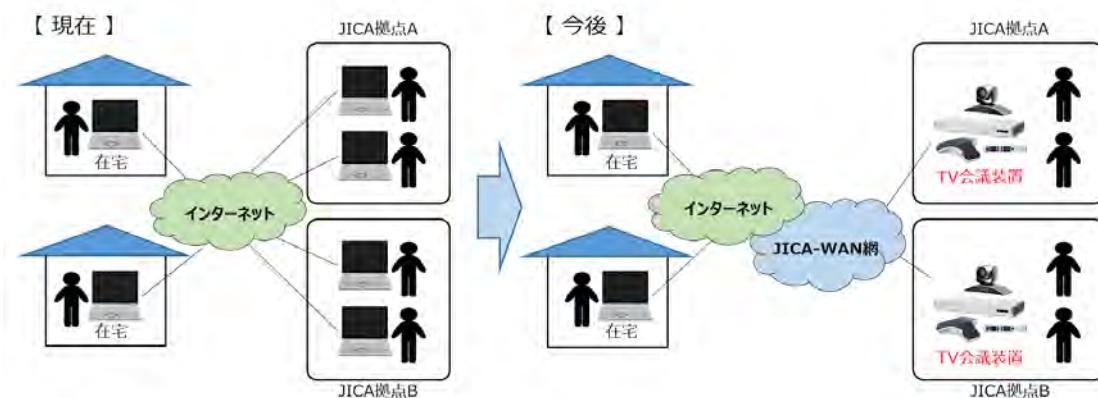
TV会議システム全体概念図



新型コロナウイルス感染症拡大により、JICAでは在宅勤務の推進、Web会議の活用など新たな働き方となった。

会議の全参加者がTV会議装置の設置拠点へ出社することは少なく、Web会議を利用したことにより、TV会議は昨年度比で約9割減の利用実績となった。

TV会議の利用実績を上げるには、TV会議システムとWeb会議を融合した会議を実現することが不可欠であり、令和3（2021）年度に当該会議の運用開始を目指し、以下の取組みを実施した。



取組み①：Teamsに接続したPCとTV会議システムを仲介する装置の検証

取組み②：ZoomのTV会議システムとの接続オプション(H.323/SIPルームコネクタ)の検証

(6) 映像システムコンサルティング業務

- 1 松戸市民劇場舞台運営・防犯用カメラ設備整備修繕

松戸市民劇場の舞台運営支援ITVカメラ設備、防犯用カメラ設備の整備修繕業務を

行いました。

舞台運営支援システムは、映像信号に遅延が生じないSDIカメラを使用したシステムで、防犯カメラはネットワークカメラを使用したシステムとしました。

舞台カメラはロビー、楽屋、舞台運営要員のオペレーションエリアに配信出来るようにしました。

– 2 松戸東ロータリークラブ難聴者支援システム施工

松戸森のホール21大ホールの難聴者支援システム施工工事を行いました。導入した貸出用聴器での利用のほかに、持込み補聴器によるFM受信、タイループ受信にも対応出来るようにしました。

– 3 日本アムウェイ本社ビル 防犯カメラシステム更改

日本アムウェイ合同会社本社地下1階にある中央監視室にある防犯用カメラ設備の更改工事を行いました。各カメラ映像それぞれHD画質で1か月間の録画に対応出来るようにしました。

– 4 日本アムウェイ本社ビル HALL_OF_ACHIEVEMENT検索・表示システム更改

日本アムウェイ合同会社本社地下1階にあるHall of Achievement（アムウェイビジネスに貢献された方々を顕彰する場）エリアにある動画、静止画、地図、テキストからディストリビュータを検索しそれらの方々の経歴、実績、活動を動画静止画で閲覧することができるシステムの施工と、ソフト開発を行いました。

– 5 某証券会社コールセンター電話待ち人数表示システム、休憩室AVシステム

某証券会社コールセンター各フロアにおける、電話待ち表示AVシステムの設計・施工工事を行いました。covid-19の状況を考慮し、朝礼・メッセージ等のWeb会議映像音声については、各地方拠点に配信出来るようにしました。

(7) 映像システム保守管理業務

以下の公共施設、学校、企業等に設置されている映像情報システムを対象に、システムの保守管理業務や運用業務の支援を行いました。

①千葉県松戸市文化会館映像配信システム

松戸市文化会館「森のホール21」の館内案内や催し物スケジュール等の情報を提示する館内デジタルサイネージシステム。

②千葉県松戸市生涯学習情報提供システム(まつどまなびいネット)

松戸市内の文化系・スポーツ系・青少年のサークル・グループ（社会教育関係団体・青少年団体・自主企画団体）や生涯学習支援ボランティア等の情報を登録できる、松戸市がインターネット上に開設した情報サイト。

③千葉県松戸市文化ホール社会教育推進関連機器

松戸市文化ホールの講座室に設置している映像音響システム、文化ホール内LANや電子黒板システム。

④学校法人昭和女子大学 A Vシステム

昭和女子大学のオーロラホール、コスモホール、階段教室、各種教室及び体育館に設置している映像音響システム。

⑤学校法人松本歯科大学 A Vシステム

松本歯科大学の大小会議室や大小教室に設置している映像音響システム、ラウンジ情報案内サイネージシステムや防犯カメラシステム。

⑥学校法人愛知大学東京霞が関オフィス情報システム

愛知大学東京霞が関オフィスに設置しているパソコン等情報機器。

⑦日本アムウェイ合同会社本社 A Vシステム

日本アムウェイ本社のオーデトリアム、ボーダルーム、役員会議室、アムウェイプラザ、各セミナー室及び各会議室に設置している映像音響システム。

⑧日本アムウェイ合同会社地方プラザ（全国8ヶ所） A Vシステム

日本アムウェイ地方プラザ（札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡）のショールームやセミナー室に設置している映像音響システム。

VI 運営に関する事項

（1）役員等名簿

理事長	久保田了司	当財団代表理事
常務理事	久保田庸弘	当財団業務執行理事
理事	清水 康敬 永岡 慶三	東京工業大学 名誉教授 早稲田大学 名誉教授
	伊東信一郎	ANAホールディングス（株）取締役会長
	正殿 博章	ニッセイ保険エージェンシー（株）前代表取締役会長
	佐野 元昭	（株）ケイ・アイ・IT情報科学研究所 代表取締役社長
	伊庭野基明	グローバルキャリアカウンセラービジネスコーチ
	馬場 弘子	（株）サンカントサンク 代表取締役
	田中 純一	（一社）ビル減災研究所 代表理事
監事	鈴木 重文	弁護士
評議員	米里 文明	（株）インフィートラベルインフォメーション 元代表取締役社長
	稻葉 徹	センクシア（株）アドバイザー
	大串 夏身	昭和女子大学 名誉教授
	唐澤 誠	（株）唐澤誠建築音響設計事務所 代表取締役
	近藤 孝夫	（株）同学社 代表取締役
	野田 弘子	プロビティコンサルティング（株）代表

（2）会議等の開催

-1 第1回理事会（通常）

開催日：令和2年6月8日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：令和元年度事業報告・決算報告
(株) メディアリンクとの業務委託実績

-2 第1回運営委員会（定例）

開催日：令和2年6月17日
開催場所：霞が関ナレッジスクエア
主な議題：令和元年度事業報告

-3 第1回評議員会（定時）

開催日：令和2年6月25日
開催場所：霞が関ナレッジスクエア
主な議題：令和元年度事業報告・決算報告
(株) メディアリンクとの業務委託実績

-4 第2回運営委員会（定例）

開催日：令和2年12月16日
開催場所：霞が関ナレッジスクエア
主な議題：令和2年度上期事業報告

-5 第2回理事会（通常）

開催日：令和3年3月16日
開催場所：霞が関ナレッジスクエア
主な議題：令和3年度事業計画・収支予算
(株) メディアリンクとの業務委託予定

(3) 会員等（令和3年3月）

賛助会員	40 団体
協賛メンバー	30 団体
法人メンバー	4 団体
Web会員	19,427 名

【令和元年度事業報告の附属明細書について】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載するべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上